

主要な施策の成果報告書

は じ め に

令和5年5月、各地で猛威を振るってきた新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、これまで様々な制約を受けていたものが、徐々に以前のような姿を取り戻し始め、経済が自立的に循環する環境となりました。

本市においては、全国高等学校総合体育大会の開催をはじめ、全国都市緑化北海道フェアの理念を後世に受け継ぐ「恵庭市花と緑の記念日」の制定や、「恵庭花とくらし展」の拡大開催など、恵庭の魅力を市内外に発信するイベントが多数開催されたほか、市民生活や地域経済、教育、福祉など様々な分野において実施した、未来を築く多くの施策により、新たな時代への歩みを着実に進めて参りました。

一方、令和5年度は、千歳市へのラピダス社の進出や北広島市でのボールパークの開業など、本市を取り巻く環境が大きく変わり始めた年となりました。

また、依然として続く世界的な物価高騰により、市民の暮らしや企業の事業活動に大きな影響を及ぼした年でもあります。

そうした中、令和5年度予算は、「暮らしやすい、住みやすいまち」として魅力を発信し続け、自治体DXやゼロカーボンといった特色のある施策を積極的に進めながらも人と人とのつながりを大切にする包摂的社会の実現を目指し、「新たな時代に向かって着実に歩み続ける 令和5年度予算」として、重点施策に次の5本の柱を掲げて編成し、各事業を推進したところです。

- 1 誰もが豊かで健やかに暮らせる共生のまちづくり
- 2 恵庭から発信する脱炭素社会実現へのまちづくり
- 3 緑化フェアの心を生かした魅力溢れるまちづくり
- 4 暮らしを守る強靱で安全安心なまちづくり
- 5 便利で快適な暮らしが実現できるまちづくり

この重点施策を中心に、令和5年度に実施した事務事業の主なものについて、総合計画に掲げる5つの基本目標ごとに分類した「主要な施策の成果報告書」をまとめましたので報告いたします。

目 次

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標０１ 様々な担い手によるまちづくり.....	408
●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進.....	408
●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進.....	408
目標０２ 時代のニーズに沿った変革.....	409
●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築.....	409
●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な 財政運営の確立	411
●公共施設の適正配置による機能面の充実.....	411
●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付.....	412
目標０３ とともに学びともに知る情報.....	413
●市民と行政との情報共有の推進	413
●開かれた行政運営の推進	413

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標０４ 災害に強い地域防災力	415
●防災意識の普及、推進	415
●耐震改修の推進	416
目標０５ 支えあう消防救急体制	417
●消防防災体制の充実・強化	417
●防火安全対策の推進	417
●応急手当普及啓発活動の推進	417
目標０６ 安全安心の日常生活	418
●交通安全・防犯活動の推進	418
●消費生活相談事業の推進	419
目標０７ 助け合いのちを大切にすまち.....	420
●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び 地域支援の推進	420
●自立支援事業の推進	421
●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進.....	424
●骨髄等提供ドナー支援の推進	424
目標０８ 夢と健康を育むまち	425
●第２次健康づくり計画・第３次食育推進計画・自殺対策計画に基づく事業実施....	425
●予防接種・健康診査・がん検診の推進.....	426
●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進.....	429
●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境.....	430
目標０９ 持続可能な地域医療・介護体制.....	433
●夜間・休日診療体制の維持	433
●地域包括ケアシステムの発展	433
●医療費の助成	435
●国民健康保険・後期高齢者医療の状況.....	437

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標１０ いきいきと働きやすいまち.....	439
●企業誘致環境の整備	439
●多様な人材を活かせる労働環境の整備.....	439
目標１１ 恵まれた土地を生かした農林業.....	441
●生産基盤整備の充実	441
●経営の強化と担い手の育成・確保.....	441
●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進.....	442

目標 1 2	暮らしを支える商業	444
●	商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援	444
●	市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進	444
目標 1 3	来てみたいまち 住んでみたいまち	445
●	魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出	445
●	移住・定住の促進	447
●	都市間交流の促進	447
基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち		
目標 1 4	地域で育む子育て環境	449
●	子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討	449
●	学童クラブ及び保育園、認定こども園における待機児童の解消	454
●	学童クラブ支援員及び保育士等の人材確保と質の向上	456
●	ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進	456
目標 1 5	心豊かな思いやりをもった子どもの育成	457
●	体験型事業の推進	457
●	読書活動による子どもの育成	458
目標 1 6	子どもの自立成長を促す学校教育	459
●	ふるさと教育の推進	459
●	教育環境の整備促進	460
目標 1 7	手を取り合い創造性を育む文化芸術	465
●	公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進	465
●	生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり	468
基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち		
目標 1 8	地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり	470
●	駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進	470
目標 1 9	水と緑豊かな生活空間づくり	471
●	水・緑など恵庭の魅力の維持	471
●	市民ニーズに対応した適正な墓所の確保	472
●	防衛施設周辺整備等事業の推進	472
目標 2 0	安全で円滑な地域交通	474
●	除排雪の維持	474
●	身近な市民の足の確保（新公共交通システムの構築）	474
●	橋梁耐震化など安全な道路網の維持	475
●	照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持	476
目標 2 1	安定した水供給と持続的な下水処理	477
●	人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営	477
●	最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、 安定的・持続的な上下水道事業の運営	477
●	他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、 効率的な資源・エネルギー循環の取組み	478
目標 2 2	住み続けたいくなるまちづくり 住まいづくり	479
目標 2 3	ごみの減量と適正な処理	480
●	ごみ処理施設の整備・適正管理	480
●	ごみの分別・収集体系の構築	481
目標 2 4	次世代へつなげる環境	482
●	地域環境美化活動への支援	482
●	地域に応じた自然環境の保護と管理	482
●	省資源・省エネルギーの促進、普及啓発	482

基本目標Ⅰ 市民による市民のためのまち

目標０１ 様々な担い手によるまちづくり

恵庭市まちづくり基本条例を基本とし、市民と行政が、それぞれの能力を生かし、役割分担をして課題の解決に取り組む「協働」のまちづくりを推進しました。

●まちづくり基本条例に基づく市民との協働の推進

町内会や各種地域団体、ボランティア団体などとのネットワーク化に加え、「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす）」を市民活動の拠点とし、市民主体の活動が行いやすい環境整備に努めるとともに、まちづくりやコミュニティ活動に取り組もうとする団体や市民に対しての支援策を進めました。

- ・市民活動支援補助金（P. 62）

	1, 412千円
まちづくりチャレンジ協働事業補助金（16団体 10事業）	1, 217千円
学生版まちづくりチャレンジ協働事業補助金（4団体 4事業）	195千円

- ・市民活動センター推進事業（P. 62・65）

市民活動のより一層の活性化を図るとともに、町内会や市民活動団体の自主的・主体的な活動を総合的に支援する「NPO法人恵庭市市民活動センター運営協議会」との協働により、市民活動団体に対し、活動拠点の提供、機器貸出、情報発信などを行い、活動を支援しました。

令和6年3月末現在会員数：125（団体76 個人14 企業35）

備品貸出：286件 印刷利用：639件 ロッカー：7件 展示：16件

市民活動センター情報を回覧や公共施設等指定の場所に配布して情報発信

●地域コミュニティ活動・多世代交流の推進

- ・地域会館維持管理・自治活動支援（P. 61）

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| 地域会館維持管理費補助金 | 1, 168千円 |
| 会館借上費補助金 | 1, 386千円 |
| （島松東町、恵央、相生町、末広） | |
| 地域会館除去費補助金（南島松北組合会館、西島松南会館） | 1, 000千円 |
| 地域会館整備費補助金（下島松会館） | 539千円 |
| 自治活動交付金 | 24, 223千円 |

- ・「えにわ知恵ネット」事業（P. 62）

登録団体数 107団体（団体74 個人33）

- ・地域担当職員制度の実施

地域担当職員を配置し、地域と行政のパイプ役となり協働のまちづくりの推進に取り組みました。

- ・生活環境改善要望（185件）
- ・地区町内会連合会役員会等への参加

目標０２ 時代のニーズに沿った変革

限られた資源のなかで効率的な行政運営を行うため、市民の声を生かし、「選択と集中」を軸として、効率的な行政運営に努めました。

●事務事業の効率化と効果的な行政組織体制の構築

・第７次行政改革推進計画の推進

第７次行政改革推進計画における３本柱、「時代に即した業務手法の見直し」、「市民満足度と利便性の向上」、「健全な行財政基盤の強化」に基づき施策を推進しました。

- ・時代に即した業務手法の見直し
 - ・ＩＣＴの活用による業務改革
専門部会による業務プロセス可視化の取組
 - ・事務事業の見直し
第６次計画期間中からの事務事業進捗管理 ４事業（完了）
令和４年度からの事務事業評価 ３８事業
行政評価マニュアルに基づく市民参加状況の進捗管理
- ・市民満足度と利便性の向上
 - ・効率的で質の高い窓口サービスの提供
行政手続等の押印見直し推進
 - ・公民連携の推進
市民による政策提案制度の仕組み検討
- ・健全な行財政基盤の強化
内部統制の独立的評価（モニタリング）
公共施設等総合管理計画実施計画の進捗管理（削減目標３％）
実施計画における公有財産面積 ２５９，６８０．５３㎡
削減面積の累計 ９，８５３．０６㎡（△３．７９％）
令和５年度削減面積 ３，４３２．１６㎡（解体等）

・恵庭市デジタル化推進計画の推進

- ・行政手続きのオンライン化
令和４年度にオンライン化を実施した総務省の【自治体ＤＸ推進計画】で示された２５手続に続き、【恵庭市デジタル化推進計画】にてオンライン化を推進することとしている行政手続について、新たにオンラインでの手続きを可能にしました。
 - ・道路占用許可申請 ・後援名義使用承認 ・納税通知等の送付先変更届
 - ・保育施設入園相談来庁予約 ・乳幼児歯科健診、フッ素塗布予約 ・入札（試行）
 - ・犬の死亡届※※公開は令和６年度
- ・ＲＰＡ、ＡＩ－ＯＣＲの活用業務の拡大
市民税賦課業務や法人市民税、固定資産税、軽自動車税の入力補助やデータチェック業務等に対して、令和元年度に導入したＲＰＡシステム、ＡＩ－ＯＣＲの活用範囲を拡大することで作業時間の削減を図りました。
また、全庁向けに当該システムの説明会、研修会等を開催し、これまで活用してきた業務以外での導入を進めました。
 - ・令和５年度新規導入業務 ７業務
 - ・令和５年度作業時間削減効果（累積） ８３２時間

・書かない窓口の開設 (P. 56)

26, 323千円

窓口業務支援システムを導入し、住民票や戸籍等の31種の証明書の申請について、【書かない窓口】による手続きを開始しました。

・公用スマートフォンの導入 (P. 56)

20, 960千円

職員に公用スマートフォンを配布し、ビジネスチャットを活用することで緊急連絡や普段のコミュニケーションが大きく効率化しました。

また、災害時の現場状況をチャットで報告し、写真、動画をリアルタイムで災害対策本部と共有することが可能になったことで、スムーズな情報連携により迅速な災害対応が可能となりました。

通常時においても各種アプリの活用やテザリングによる出張・外勤時のモバイルワーク環境の整備など、業務効率化に活用されています。

・恵庭市公式LINEアカウントの開設 (P. 56)

8, 961千円

市公式LINEアカウントを開設し、プッシュ通知を行うだけでなく、市民から市の様々な情報にアクセスしやすい環境を整備しました。

公式LINE実装機能

- ・申請 (水道開閉栓、新型コロナウイルスワクチン接種)
- ・子育て (保育施設入園相談来庁予約)
- ・ごみ (ごみ分別チャットボット、ゴミの日リマインダー通知、収集漏れの連絡等)
- ・くらし (エコバス時刻表、エコバス運行状況確認、除雪状況確認、市ホームページ、SNS等)
- ・防災 (避難所検索、ハザードマップ)
- ・通報 (不法投棄、ボランティア袋回収連絡)
- ・セグメント配信 (対象者の属性を選択することによるプッシュ通知機能)

・電子入札システムの導入 (P. 69)

5, 170千円

システム導入により、応札者の入札手続きに関する事務効率化を促進することで、従事者の減少、後継者不足が懸念される建設事業者の生産性向上を図るとともに、災害時における迅速な発注が可能となりました。

・職員研修の充実

人材育成基本方針に基づき作成された職員研修計画を適宜実行し、人材の育成に努めました。

他市との合同研修は、江別市、北広島市との3市合同研修及び千歳市との包括連携協定に基づく合同研修を実施しました。

OJT計画「職員育成計画」は、対象を新規採用職員及び採用2年目職員とし、課題解決への対応を学習し、また、市民の視点に立ったサービス提供に向けて進めています。

- ・一般研修 (階層別研修外)
- ・特別研修 (女性職員リーダー研修、プレゼンテーション研修外)
- ・先進都市派遣研修

・広域共同事業の推進

近隣12市町村で形成される「さっぽろ連携中枢都市圏」に参画し、広域的な連携事業を推進しました。また、千歳市と締結している「連携施策の充実拡大に関する覚書」による連携事業に取り組みました。

- ・さっぽろ連携中枢都市圏への参画事業数 54事業

連携した企業誘致の促進、公立夜間中学の共同活用、圏域外からの移住促進等

- ・千歳市との連携事業数 40事業 (うち、情報共有 25事業)

着手 4事業 (発達支援等に関する研修や講演会の共同開催、消防の人材育成の推進等)

実施 11事業（共同プロモーションや観光資源の活用等の推進、職員の合同研修、有害鳥獣等の廃棄物にかかる共同処理体制の検討、航空写真の共同撮影等）

・おくやみ窓口の開設

死亡に係る手続きが1つの窓口で行えるおくやみ窓口の開設を継続しました。多数ある手続きのワンストップ化を図り、遺族の方の負担を軽減し、市民サービスが向上するようにしました。

おくやみ窓口利用者数 242名（利用率27.9%）

・恵庭市公式アプリ開発事業（P.68）

12,493千円

令和5年度は、ポイント機能（えにぽ）の運用を開始し、アプリ登録者数が大幅に増加しました。また、令和6年度からのウォーキングポイント、健康管理機能の実施に向け開発を進めました。

・アプリ登録者数 6,577人

・アプリ参加事業者数 148か所

●行政運営における市民意見の反映と「財政運営の基本指針」に基づく安定的な財政運営の確立

・市税・国保税コンビニ収納、クレジット納付の実施

市・道民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税の税目について、コンビニエンスストアでの収納、スマホアプリ【PayPay、LINE Pay等】、エルタックス、クレジットカードによる納付を実施し、曜日や時間を問わない収納を行い、継続して納付方法の多様化による利便性の向上を図りました。

納期内納付率の推移

（納付件数/納税義務者数）

	市・道民税（普徴）		固定資産税・都市計画税		軽自動車税種別割		国民健康保険税			
	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5		R4	
1期(6期)	74.9%	75.7%	83.1%	83.8%	81.8%	83.8%	81.3%	(83.0%)	80.0%	(83.2%)
2期(7期)	77.3%	77.8%	88.2%	87.1%			81.9%	(81.3%)	80.7%	(81.7%)
3期(8期)	77.1%	76.4%	85.9%	89.9%			83.4%	(83.2%)	83.9%	(84.6%)
4期(9期)	71.2%	79.2%	90.6%	91.2%			82.6%	(84.2%)	83.9%	(85.9%)
5期(10期)							83.6%	(86.4%)	83.8%	(87.3%)
期別計	75.1%	77.3%	86.9%	88.0%	81.8%	83.8%	83.1%		83.4%	
前年比	△2.2ポイント		△1.1ポイント		△2.0ポイント		△0.3ポイント			
コンビニ	41.5%	42.0%	23.2%	23.8%	52.0%	55.0%	24.1%		23.6%	
スマホアプリ	4.1%	3.9%	1.2%	2.1%	1.6%	2.4%	2.0%		1.4%	
エルタックス	－	－	2.2%	－	4.1%	－	－		－	
クレジット	1.5%	－	1.1%	－	1.8%	－	0.5%		－	

※コンビニ、スマホアプリ、エルタックス、クレジットの納付率は税目毎の納期内納付総件数に対する割合

※クレジット、エルタックスはR4未対応

●公共施設の適正配置による機能面の充実

・複合施設の利用促進

市民活動の拠点「アルファコート緑と語らいの広場（えにあす）」

貸部屋数13か所 来館者数319,215人 各室利用人数84,407人

●マイナンバーカードの積極的な申請支援と円滑な交付

・マイナンバーカードの交付円滑化事業（P.81）

予約制、休日・平日夜間交付窓口の開設を継続したほか、出張申請支援などマイナンバーカードの円滑な申請・交付を図り、市民の利便性が向上する取り組みを実施しました。また、マイナポイント申込支援窓口の開設を継続しました。

休日・平日夜間交付窓口の開設 休日 20 日、平日夜間 46 日

出張申請サポートイベントの実施 14 回 申請 322 件

マイナンバーカード交付率 80.7%（令和5年度末現在）

マイナンバーカード交付数 7,742 枚（累計 56,603 枚）

マイナポイント申込支援人数 3,616 件

コンビニ交付サービス利用件数 10,807 件（令和4年度 7,957 件）

目標０３　ともに学びともに知る情報

市民ニーズを的確にとらえ、様々な媒体を活用し情報発信を行い、市民と行政が役割と責任を自覚し、お互いに情報を共有しながら透明性の高い開かれた行政運営に努めました。

●市民と行政との情報共有の推進

・広報えにわの充実（P.59） 17,873千円

広報えにわ発行 407,036部（月平均33,920部）

・コミュニティFMラジオおよびメール配信の活用（P.59） 6,654千円

恵庭市からのお知らせ	月～金曜日各日3回（閉庁日除く） 土曜日1回、日曜日1回、月～金曜日同日再放送あり
恵庭タウンガイド	月～木曜日各日1回（閉庁日除く）
生活環境課からのお知らせ	週3回
みんなで地域防災	毎週金曜日1回
保健センターからのお知らせ	毎週木曜日1回
イベント放送（職員の声）	年2回
メール配信	月2回

・出前講座の実施

実施件数 126回 受講者数 4,749人

・市公式SNSでの情報発信

生活情報やイベント情報を広く伝えるため、市公式Facebook及び市公式X（旧Twitter）を継続運用し、情報発信しました。

●開かれた行政運営の推進

・広聴活動

市民生活に関する相談窓口の充実を図るため、庁内をはじめ関係機関と連携しながら、安心して相談できる環境づくりを進めました。

市民の声（苦情・相談など）	44件	
弁護士法律相談	36回	193人
司法書士法律相談	4回	16人
人権委員・行政委員相談	1回	1人
総合行政相談	1回	2人

・市民の広場の実施

・開催テーマ：「地域コミュニティ」

開催日：令和5年9月7日 市民会館 参加者53名
ワールドカフェ形式で、グループ発表、市長との意見交換を行いました。

・開催テーマ：「町内会などにおけるデジタル化」

開催日：令和6年3月19日 市民会館 参加者32名
ワークショップ形式で、グループ発表、市長との意見交換を行いました。

・パブリックコメントの推進

パブリックコメント実施状況（１５案件、３８名、意見数４４件）

※その他、札幌市及び連携市町村にて１案件、７名、意見数６８件あり

・議会文化芸術回廊の設置

市民が文化芸術に触れ、議会を知ってもらう機会とするため、市内芸術家の作品を議場廊下へ展示する文化芸術回廊を設置しました。

設置日：令和５年１０月１３日

展示数：写真３点、絵画３点、書道３点、アート書道３点、パッチワーク１点

・議場コンサートの開催

市民が議会を身近に感じ、気軽に議場へ足を運んでもらう機会とするため、本会議の議場を開放し、定例会会議開始前に恵庭市にゆかりのある個人・団体による議場コンサートを開催しました。

開催日：令和５年第３回定例会初日（令和５年９月１４日）

出演者 恵庭女声コーラス１１名 傍聴者３名

令和５年第４回定例会初日（令和５年１２月４日）

出演者 Hacchi ２名 傍聴者１８名

令和６年第１回定例会初日（令和６年２月１５日）

出演者 恵庭民謡連合会 ６名 傍聴者 ３８名

基本目標Ⅱ 誰もが健康で安全安心に暮らせるまち

目標０４ 災害に強い地域防災力

大規模災害に備えて平常時から市民の防災意識の高揚を図るとともに「自助・共助・公助」による協働の仕組みづくり、自然災害対応を見据えた強靱化の推進に努めました。

●防災意識の普及、推進

防災訓練や防災教育を推進するとともに、防災設備の点検・整備に努め、緊急時に対応できる体制の確保に努めました。

・各防災計画の推進（P. 154）

災害対策基本法に基づき、避難行動要支援者名簿の整備を進めるとともに、円滑な避難支援実施に向けて、平常時から情報提供に同意された方の名簿を関係機関へ提供しました。

また、地域の防災リーダーを育成するために、出前講座や一日防災学校等を開催し地域防災力向上に努めました。

- ・避難行動要支援者名簿の更新 平常時名簿： 754名（情報提供同意者）
災害時名簿：1, 707名
- ・出前講座の実施 38回開催 約2, 500人参加
- ・一日防災学校の実施 5回開催（恵み野中 約300名、柏陽中 約290名、
恵庭中 約300名）

・自主防災組織等活動支援助成金（P. 155）

552千円

自主防災組織の活動を支援し、活動の活性化や組織率の向上を図り、災害に強い地域防災力を推進するため、自主防災組織における防災資機材の購入や防災訓練等の活動に対し、経費の一部を助成しました。

- ・令和5年度末 自主防災組織 43組織（昨年度末42組織）
- ・防災活動支援（ハード）1件
- ・防災活動支援（ソフト）13件

・避難所防災力向上事業（P. 155）

5, 676千円

福祉避難所に対し施設改修を施し、非常用電源車となる車両との接続を可能とするとともに、災害時に利活用ができる非常用電源車両を導入しました。

・災害用物資備蓄品整備事業（P. 155）

7, 222千円

「恵庭市災害用物資備蓄計画」に基づき、緊急時の備蓄を計画的に整備しました。

- ・食料7, 583食、紙おむつ等1, 912枚、簡易トイレ4, 900回分等

・総合防災訓練の実施（P. 155）

2, 306千円

災害時の救命、復旧活動の迅速化を目的とした、4年に1度の大規模防災訓練を実施しました。
令和5年度は3部構成にて実施

第1部：市内全域において、組織的な災害対応のための訓練

「災害対策本部指揮室」を新たに編成し、デジタル技術を活用した総合的な情報管理体制を構築したことで、これまで以上に現場との情報伝達がスムーズに行えるようになりました。

第2部：桜町多目的広場にて市民による応急手当訓練、炊出しによる食事の喫食、火災の消火訓練等の実施、災害対策関連装備等の展示

第3部：協定先事業者協力による夜間における収容避難所及び福祉避難所の開設・運営要領検証

●耐震改修の推進

・恵庭市耐震改修促進計画の推進（P. 139）

- ・平成 22 年度「木造住宅耐震診断・耐震改修助成」開始
令和 5 年度実績：診断 2 件、改修 0 件

目標０５ 支えあう消防救急体制

複雑多様化する災害事象や救急需要に迅速かつ的確に対応し、住民の生命、身体、財産を災害から守るため、持てる施設、装備、人員を最大限に活用し、安全・安心なまちづくりに努めました。

●消防防災体制の充実・強化

災害による被害の軽減を図るため、消防団の充実、活性化を推進し、消防施設、消防・救急車両、資器材などを整備することにより、消防救急体制の充実強化に努めました。

・消防施設などの整備・更新（P. 152～154）

・消火栓更新整備事業	22基	10,510千円
・はしご付消防ポンプ車更新整備事業	1台	29,173千円（令和5年度分）
＊リース期間 平成29年2月1日～令和9年1月31日		
・札幌圏消防共同指令センター整備事業	1式	36,361千円
・消防救急デジタル無線共同整備事業	1式	24,041千円
・消防用資器材整備事業	1式	3,259千円
・消防団資器材整備事業	1式	520千円
・救急資器材維持管理計画	1式	1,001千円
・学生消防サポーター制度	令和5年度	202名登録

・消防庁舎改修整備事業（P. 154）

204,006千円

感染症への対策として救急拠点施設である本署、島松・南出張所に消毒室の整備を行いました。また、両出張所に不足している仮眠室の整備を行うことで、消防体制の強化を図りました。

・メディカルコントロール体制の充実（P. 150）

救急救命士の研修及び病院実習を実施し、特定行為を実施するために必要な資格の取得と隊員の知識、技術向上を図り、救急体制の向上に努めました。

●防火安全対策の推進

市民一人ひとりの防火意識を高め、住宅用火災警報器の普及推進を図るとともに、防火対象物における消防設備の維持管理と違反是正対策を強化するなど、防火安全対策を推進しました。

・住宅用火災警報器の設置推進

- ・令和5年度末設置率：76.0%（昨年度末74.0%）
- ・推進活動：出前講座の実施 11回
- ・防火対象物立入検査 165件

●応急手当普及啓発活動の推進

・応急手当普及啓発活動の推進（P. 152）

- ・バイスタンダー養成等の救急救命講習会の実施
開催状況 上級（2回・11人）普通（60回・579人）一般（16回・435人）
救命入門（43回・1,372人）
- ・小学校6年生、中学校2年生への救命講習の実施（令和5年度）
市内全小学校 受講者総数593名
市内全中学校 受講者総数585名
- ・市職員への救命講習の実施（令和5年度）
受講者総数 85名

・AEDの普及・促進（P. 152）

- ・AED設置施設表示証交付状況
表示証交付施設数（令和5年度末）：246施設

目標 06 安全安心の日常生活

地域ぐるみで、交通事故・犯罪のない安全で安心して暮らせるまちづくりを進め、消費生活知識の普及啓発や、無料法律相談を実施しました。

●交通安全・防犯活動の推進

「恵庭市安全で安心なまちづくり推進計画（令和3年度～令和7年度）」に基づき、地域や関係団体、警察署と連携をとりながら各種事業や運動を展開し、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図るとともに、犯罪の未然防止に努めました。また、防犯協会を中心に地域単位での防犯組織づくりを進めるとともに、防犯施設の整備促進など防犯体制の強化に努めました。

・自主防犯活動の促進（P. 61）

1) 地域安全ニュースの発行

市内で発生した犯罪等を記載した啓発紙を毎月発行し、市民の防犯意識の高揚を図りました。

2) 歳末警戒巡回パトロール及び地域安全運動の実施

令和5年12月21日に金融機関、コンビニ、駅にて実施

3) 青色回転灯車によるパトロール及び防犯パレードの実施

・防犯灯等の設置状況（P. 61）

506千円

令和5年度新設置状況 防犯灯 14箇所（廃灯 1箇所）

・防犯カメラ設置補助（P. 61）

640千円

令和5年度設置補助金 4町内会、4台設置

・交通安全啓発活動の実施（P. 59～60）

1) 人身事故発生状況（各年12月末現在）（人）

区分 年	発生件数	負傷者	死者
R5年	77	91	1
R4年	98	108	1
比較	△ 21	△ 17	0

2) 交通安全啓発事業

・交通安全警戒・注意等の看板の設置 17基

・交通安全運動の実施 4期（5月・7月・9月・11月）40日

・自転車マナー啓発の実施 恵庭駅1回、恵み野駅1回、恵庭北高校1回、恵庭南高校3回

・交通公園利用実績 団体利用2, 077人、個人利用8, 660人

・ドライブシミュレータを活用した高齢者安全講習2回

・自転車シミュレータを活用した安全運転診断1回

・交通安全教室の開催

（人）

区分	幼稚園・保育園・ 認定こども園	小学校	老人クラブ	町内会等	合計
回数	69	51	5	2	127
参加人員	4,655	3,492	180	19	8,346

3) 運転免許証自主返納出張窓口の開設

開設回数12回、免許証返納者数104人

4) 交通指導員の活動

・交通安全指導員（12名）

4期40日の交通安全運動期間中における街頭指導並びに交通安全啓発活動の実施

・交通安全児童指導員（10名）

市内各小学校の登下校時の街頭指導及びこぐまクラブ・小学校・町内会等で交通安全教室開催

・交通安全対策交付金事業（P. 143）

12,500千円

・区画線塗布工事

区 分	中心線(m)	外側線(m)	ドット線(m)	路面表示(m)
R5 年度	20,341	37,366	1,271	39
R4 年度	26,173	28,971	920	348
比 較	△5,832	8,395	351	△309

●消費生活相談事業の推進

特殊詐欺や悪質商法等の消費トラブルなどに迅速・的確に対応するため、有資格者による消費生活専門相談員を配置し、消費者の保護、被害の未然防止を図りました。また、消費者協会と連携し消費者被害防止セミナーを開催するなど正しい情報や知識を広く市民に提供し、自己防衛のできる消費者の育成を図りました。通話録音機能等の特殊詐欺防止機能付き電話機等の導入費用を補助する「特殊詐欺等防止対策機器導入費補助金」の推進を図りました。

・消費生活相談及び小売価格調査等の実施（P. 61）

6,308千円

消費生活相談業務

区 分	R5 年度	R4 年度	増 減
相談件数	419	405	14

（相談内訳）

区 分	契約・金銭 トラブル	サイト 登録等	通信販売	勧誘 訪問販売	架空請求	問合せ	その他	計
件 数	101	10	141	40	5	25	97	419

消費者出前講座

講 座 内 容	回 数	人 数
高齢者等消費者教育について	5 回	101 人

- 1) パネル展の開催 2 回
- 2) 小売価格調査事業(灯油・ガソリン・軽油・L P ガス)
調査回数：毎月 1 回
調査地区：17 店舗
- 3) 試買量目調査の実施状況
実施回数：年 1 回
調査品目：生鮮食料品 6 品目
調査地区：9 店舗
- 4) 消費者被害防止セミナー開催
テーマ：「特殊詐欺事例と防止対策について」「円満な相続の実現のために～相続に関するトラブルと対策～」
「将来に備えるお金の話～投資に関するトラブルと対策～」
参加者：29 人
- 5) 市内街頭啓発の実施 年 6 回
- 6) 消費者被害防止ネットワークの推進 情報発信 12 件

・特殊詐欺等防止対策機器導入費補助金（P. 61）

427千円

補助金交付件数：44 件 （1 件につき上限 1 万円）

・無料法律相談の実施（P. 59 目標 03 に別掲）

1,188千円

弁護士法律相談	36 回	193 人
司法書士法律相談	4 回	16 人

目標０７ 助け合いのちを大切にするまち

市民一人ひとりの人権が尊重され、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現をめざし、市民一人ひとりが人権尊重についての理解を深め、自立した生活ができるように支援を推進しました。

●発達に心配のあるまたは障がいのある子どもの早期発見、早期支援及び地域支援の推進 (P. 92～93・99～101)

・児童通所支援等福祉サービス

区 分	児童発達支援事業			放課後等デイサービス事業			保育所等訪問支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R5 年度	13,221	204	166,000	31,358	249	327,347	98	8	1,263
R4 年度	8,407	179	92,944	25,092	208	253,577	86	5	1,024
比 較	4,814	25	73,056	6,266	41	73,770	12	3	239
区 分	医療型児童発達支援事業			短期入所事業			居宅介護事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)	利用時間	実人員	金額(千円)
R5 年度	0	0	0	515	12	14,989	300	7	1,795
R4 年度	0	0	0	482	10	14,115	376	5	2,408
比 較	0	0	0	33	2	874	△76	2	△613
区 分	居宅訪問型児童発達支援事業								
	利用回数	実人員	金額(千円)						
R5 年度	31	3	434						
R4 年度	17	1	167						
比 較	14	2	267						

・地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			訪問入浴サービス支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R5 年度	1,074	8	4,502	0	0	0
R4 年度	1,073	8	4,439	0	0	0
比 較	1	0	63	0	0	0
区 分	日中一時支援事業			日中一時支援事業(重度入浴型)		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R5 年度	22	1	40	45	1	565
R4 年度	30	1	38	44	1	552
比 較	△8	0	2	1	0	13

・子ども発達支援センター事業

(延人数)

区 分	障がい児通所支援			市町村中核子ども発達支援センター事業				
	児童発達支援	保育所等 訪問支援	居宅訪問型 児童発達支援	センター 基本相談	乳幼児健診		乳幼児発達 支援教室	巡回発達 相談
					1歳6ヵ月 健診	3歳児 健診		
R5年度	3,218	62	15	110	30	41	119	34
R4年度	3,579	65	15	124	38	37	120	31
比 較	△361	△3	0	△14	△8	4	△1	3
区 分	相談支援事業		小児神経医に よる発達相談	合 計				
	障がい児 相談支援	特定相談支援						
R5年度	1,048	55	47	4,779				
R4年度	901	72	41	5,023				
比 較	147	△17	6	△244				

●自立支援事業の推進 (P. 86～96・110)

- ・ボランティア活動推進事業 市補助 950千円
- ・認知症高齢者対策事業 市補助 186千円
- ・民生・児童委員連絡協議会活動の促進 市補助 11,126千円
- ・障がい者就労支援事業の推進
農福連携による就労機会の提供
延参加者数 2,516人

・障がい者自立支援事業の推進

障がい者施設系サービス (自立支援給付)

区 分	居住系サービス		日中活動系サービス					合 計	
	施設入所 支援	共同生活援助 (グループホーム)	生活 介護	就労移行 支援	就労 継続A	就労 継続B	自立 訓練	実人員	金額(千円)
R5年度	91	154	205	37	83	313	2	885	1,544,073
R4年度	90	143	208	33	76	301	4	855	1,438,159
比 較	1	11	△3	4	7	12	△2	30	105,914

※人員は新体系の利用者で居住系及び日中活動系サービスの双方を利用している者は、それぞれの人数に計上

※利用人員は、年度直近 (2月末現在)

・地域活動支援事業の実施

区 分	地域活動支援センター	
	設置箇所	利用延人数
R5年度	1	2,244
R4年度	1	2,502
比 較	0	△258

・在宅支援サービスの状況

1)身体障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			日中一時支援事業 (ケア型)			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R5年度	4,775.8	30	24,281	0	0	0	133	6	3,918
R4年度	5,924.5	31	29,758	0	0	0	73	3	2,657
比 較	△1,148.7	△1	△5,477	0	0	0	60	3	1,261

2) 知的障がい者居宅生活支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R5 年度	896.5	18	4,928	973	26	7,906
R4 年度	685.5	14	3,749	450	9	4,274
比 較	211.0	4	1,179	523	17	3,632

3) 精神障がい者支援

区 分	居宅介護事業			短期入所事業		
	利用時間	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R5 年度	1076.0	15	5,968	31	2	162
R4 年度	989.5	14	5,560	180	3	1,173
比 較	86.5	1	408	△149	△1	△1,011

区 分	就労継続 A			就労継続 B			就労移行		
	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)	利用日数	実人員	金額(千円)
R5 年度	7,106	45	58,235	18,783	138	145,101	884	15	9,225
R4 年度	7,007	44	52,226	16,628	132	146,949	1,626	16	18,913
比 較	99	1	6,009	2,155	6	△1,848	△742	△1	△9,688

4) 精神障がい者地域活動支援センター等通所交通費助成

区 分	通所施設数	実人員	助成日数
R5 年度	23	31	3,524
R4 年度	19	32	2,495
比 較	4	△1	1,029

5) 地域生活支援事業

区 分	移動支援事業			日中一時支援事業		
	利用回数	実人員	金額(千円)	利用回数	実人員	金額(千円)
R5 年度	1,143	41	4,030	372	16	496
R4 年度	940	37	3,183	97	14	165
比 較	203	4	847	275	2	331

・ 相談支援体制

恵庭市障がい者総合相談支援センター「e-ふらっと」

区 分		身体	知的	精神	重度 心身	発達	高次 脳機能	難病等 その他	総計	障がいの 重複分	重複 除く計
R5 年度	相談実件数	160	517	672	4	196	20	120	1,689	240	1,449
	相談延件数	485	1,610	2,891	9	475	78	305	5,853	657	5,196
R4 年度	相談実件数	153	567	611	8	167	25	101	1,632	207	1,425
	相談延件数	405	1,900	2,403	22	492	85	217	5,524	601	4,923
比 較	相談実件数	7	△ 50	61	△ 4	29	△ 5	19	57	33	24
	相談延件数	80	△ 290	488	△ 13	△17	△ 7	88	329	56	273

・老人憩の家利用状況

区 分	利用者数	開館日数	1日あたりの利用者数平均
福 住	2,147	293	7
和 光	9,545	293	32
大 町	6,070	293	20
柏 陽	9,227	293	31
恵み野	14,974	294	50
島 松	14,760	297	49
合 計	56,723	1,763	189

・介護保険施設等高齢者対策推進事業 対象者 354人(75歳以上) 1人1,235円

・老人健康ハイキング 22クラブ 267名参加

・老人クラブ運営事業の推進 単位老人クラブ運営費補助 30クラブ 1,482千円

・敬老祝品贈呈事業 77歳774人、100歳23人 計2,893千円

・福祉バスの運行 運行日数220日 利用者数5,794人

・高齢者健康増進事業

当該年度の1月1日時点において満75歳以上かつ、前年中に介護保険法（平成9年法律第123号）に規定するサービス提供を受けていない方に対し、健康増進助成券を配布し、高齢者の健康維持を図りました。

交付対象者数7,626人 利用率71.0%（54,171枚/76,260枚）

・生活保護の状況（年度末）

区 分	保護世帯数	保護者数
R5年度	774	1,003
R4年度	759	976
比 較	15	27

区 分	R 5 年 度		R 4 年 度		比 較	
	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）	世帯人員	金額（千円）
生活扶助	10,268	458,507	10,244	448,697	24	9,810
住宅扶助	10,548	212,826	10,471	211,428	77	1,398
教育扶助	750	6,560	723	6,323	27	237
介護扶助	2,115	21,503	2,275	21,451	△160	52
医療扶助	10,027	829,847	10,149	812,972	△122	16,875
生業扶助	297	3,217	253	3,052	44	165
葬祭扶助	11	3,247	10	3,957	1	△710
出産扶助	1	497	0	0	1	497
施設事務費	0	0	0	65	0	△65
就労自立給付金	14	293	5	293	9	0
進学準備給付金	0	0	3	700	△3	△700
合 計	34,031	1,536,497	34,133	1,508,938	△102	27,559

・ケアラー支援推進事業（P. 87）

3, 162千円

ケアラーについて理解し、今後必要とされるケアラー支援について深く学び、正しい理解を広めるために、「ケアラーシンポジウム」を開催し、恵庭市全体でケアラーの知識を深めることができました。引き続き、ケアラー問題について市民が一体となり、様々な視点からケアラー支援について検討し、全てのケアラーとその周りの全ての人が自分らしくいきいきと安心して生活できる社会の実現を目指します。

●男女がともに安心して暮らせるまちづくりの推進

・男女共同参画推進事業（P. 73）

152千円

- ・情報紙「さくらんぼ」の発行 1回（3月）
- ・パネル展示の実施

男女共同参画推進週間（6月 恵庭駅西口空中歩廊、11月 恵庭市民会館）

女性に対する暴力をなくす運動（11月 恵庭駅西口空中歩廊）

- ・男女共同参画フォーラムの開催（11月 恵庭市民会館 参加者：45名）
- ・啓発事業

パンフレット等の配布、Facebookを活用した周知活動

- ・キャッチフレーズ募集事業

市内中学校より男女共同参画キャッチフレーズを募集し、内閣府で募集するコンテストに応募すると共に、応募があったものを啓発に活用

- ・恵庭市男女共同参画推進協議会に係る事務支援

- ・役員会 4回参加

- ・定期総会に係る事務支援

参加者：31名参加

- ・講演会・事例発表会に係る事務支援

参加者：39名参加

●骨髄等提供ドナー支援の推進

・骨髄等提供ドナー支援制度調査及び普及事業（P. 115）

725千円

令和5年4月から骨髄・末梢血幹細胞の提供となった市民を対象とした骨髄ドナー助成制度を開始しました。

また、より多くの方がドナー登録できるような環境づくりや骨髄等を提供しやすいドナー休暇制度および助成制度に関するセミナーを開催し、普及啓発などを行いました。

- ・助成制度実績：申請件数 3件（支給額合計：560,000円）

- ・普及啓発事業：令和5年11月7日（火）骨髄等移植に関する普及啓発セミナーを開催

●特別講演 「がんがつなぐ足し算の縁」

講師：フリーアナウンサー 笠井 信輔 氏

主催：私たちのまちで骨髄ドナー助成制度を考える会

場所：恵庭市民会館 大ホール

参加人数：約300名

目標０８ 夢と健康を育むまち

子どもから高齢者まで日々健やかに暮らせるまちの実現を図り、ライフステージに合わせた健康づくりや生活習慣病の予防、改善、予防接種や検診事業などの支援を推進しました。

●第２次健康づくり計画・第３次食育推進計画・自殺対策計画に基づく事業実施 (P. 112～114・237～239)

・健康教育・健康相談事業の充実

区 分	健康増進事業		出前講座・授業 普及啓発		ハルデックウォーキング 講習会		Ｊリーグウォーキング		健康相談	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	延人員	回数	参加数	回数	延人員
R5 年度	7	179	138	5,105	3	57	1	229	794	1,138
R4 年度	7	128	120	4,178	4	75	1	157	753	1,550
比 較	0	51	18	927	△1	△18	0	72	41	△412

・歩くことを通したまちづくり事業の実施

区 分	参加数	休憩所数	休憩所利用者数
R5 年度	2,291	25	3,330
R4 年度	1,884	31	2,966
比 較	407	△6	364

・食育推進事業の推進

区 分	食育講座・講話		講演会		食育推進 協議会回数	食育展示 回数
	回数	参加数	回数	参加数		
R5 年度	2	12	1	45	2	4
R4 年度	2	10	1	28	1	3
比 較	0	2	0	17	1	1

・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

区 分	健口教室	
	回数	人数
R5 年度	4	92
R4 年度	0	0
比 較	4	92

※R4 コロナ禍の影響により中止

・こころの健康づくり普及啓発

区 分	講演会		ゲートキーパー養成講座		出前講座		パネル等展示	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	日数
R5 年度	1	79	1	56	0	0	10	373
R4 年度	1	24	1	19	1	21	8	133
比 較	0	55	0	37	△1	△21	2	240

・こころの健康相談

区 分	電話相談/メール		来所相談		訪問		ひきこもり相談	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R5 年度	63	247	10	29	3	16	11	25
R4 年度	43	149	10	22	3	6	5	10
比 較	20	98	0	7	0	10	6	15

・高齢者介護予防事業の実施

区 分	介護予防普及啓発事業								地域介護予防活動支援事業					
	講演会		高齢者健康づくり教室		老人クラブ健康教育		えにわウェルカム 75		百歳体操サポーター養成講座			サロン支援		
	回数	人 員	回数	延人員	回数	人 員	回数	人 員	回数	実人員	延人員	回数	延人員	
R5 年度	2	220	6	174	30	524	6	143	6	33	60	23	357	
R4 年度	2	196	6	167	31	561	6	101	6	40	67	24	393	
比 較	0	24	0	7	△1	△37	0	42	0	△7	△7	△1	△36	

区 分	短期集中予防事業				介護予防把握事業			
	通所型		訪問型		70 歳訪問		その他	
	回数	延人数	回数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R5 年度	2	24	2	6	297	297	18	43
R4 年度	2	20	0	0	219	243	32	60
比 較	0	4	2	6	78	54	△14	△ 17

●予防接種・健康診査・がん検診の推進

・エキノコックス症予防対策事業

区 分	受診数	擬陽性	陽性	中止
R5 年度	30	0	0	0
R4 年度	22	0	0	0
比 較	8	0	0	0

・予防接種事業

区 分	BCG 接種	四種混合	不活化ポリオ	二種混合 (11～13 歳未満)	麻しん	風しん	混合 (麻風しん)	ヒブ
R5 年度	367	1,614	1	431	0	0	930	1,501
R4 年度	424	1,676	0	477	0	0	944	1,723
比 較	△57	△62	1	△46	0	0	△ 14	△222

区 分	小児用肺炎球菌	子宮頸がん	水痘	日本脳炎	B 型肝炎	インフルエンザ	肺炎球菌 (定期)	風しんの追加的対策	
								抗体検査	予防接種
R5 年度	1,491	595	840	1,950	1,073	10,256	740	214	30
R4 年度	1,720	523	842	2,436	1,280	10,466	617	190	29
比 較	△229	72	△2	△486	△207	△210	123	24	1

区 分	ロタウイルス (ロタテック)	ロタウイルス (ロタリックス)
R5 年度	715	220
R4 年度	822	273
比 較	△107	△53

○子宮頸がんは国の通知に基づき、R4.4より受診勧奨再開及びキャッチアップ接種開始

・健康診査事業・各種がん検診事業の充実

区 分	健康診査・保健指導		特定保健指導		訪問指導	肝炎ウイルス検診		
	受診者数	保健指導数	積極的	動機付け	40～64 歳	受診者数	C型陽性	B型陽性
R5 年度	41	0	27	139	17	367	0	4
R4 年度	42	3	29	133	52	400	0	1
比 較	△1	△3	△2	6	△35	△ 33	0	3

区 分	胃がん検診			大腸がん検診			肺がん検診（読影）			肺がん検診（略痰）	
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精密 検査者数
R5 年度	1,631	122	2	2,276	139	2	2,003	55	2	41	0
R4 年度	1,647	111	3	2,218	140	2	1,996	68	2	37	0
比 較	△16	11	△1	58	△1	0	7	△13	0	4	0

区 分	子宮がん検診 ※			乳がん検診 ※		
	受診者数	要精検	発見がん	受診者数	要精検	発見がん
R5 年度	991	25	0	1,117	36	4
R4 年度	821	27	1	933	56	5
比 較	170	△2	△1	184	△20	△1

○「要精検」「発見がん」の件数については、令和4年度は実績値、令和5年度は令和6年5月末現在
○子宮がん検診は、頸部・体部
※がん検診推進事業分含む

・歯科保健事業の充実

区 分	乳幼児歯科健診 (人)			成人歯科検診		歯周疾患検診					う歯予防
	1歳6か月	2歳児	3歳児	回数	受診数	受診数	妊婦	節目	要指導数	要精検者数	フッ素塗布者数
R5 年度	450	41	498	1	25	269	84	185	54	166	381
R4 年度	491	54	460	0	0	286	80	206	56	194	395
比較	△41	△13	38	1	25	△17	4	△21	△2	△28	△14

・妊産婦健康診査費用の助成

区 分	妊婦健康診査受診票		妊婦一般健診 助成数	超音波検査 助成数	産婦健診 助成数
	受診人数	助成数			
R5 年度	586	6,074	4,099	1,975	548
R4 年度	659	6,605	4,560	2,045	635
比 較	△73	△531	△ 461	△70	△87

・不妊治療費等の助成

区 分	助成延数
R5 年度	9

※令和5年度からの新規事業

・低所得妊婦初産科受診の助成

区 分	助成延数
R5 年度	1

※令和5年度からの新規事業

・産後ケア事業

区 分	実数	延数	利用実績
R5 年度	6	9	16 泊・延長 3 回
R4 年度	9	15	27 泊・延長 3 回
比 較	△3	△6	

・妊婦にやさしい環境づくり事業（マニティマークストラップ）

区 分	配布数
R5 年度	375
R4 年度	377
比 較	△2

・妊産婦健康診査通院費の助成

区分	交付数	助成回数
R5 年度	300	3,827
R4 年度	304	2,941
比 較	△4	886

・子育て世代包括支援センター事業（えにわっこ応援センター母子保健分）

区 分	相談件数			セルフプラン作成件数					支援プラン 作成件数
	来所	電話	計	妊娠期	産後期	乳児期	幼児期	計	
R5 年度	104	113	217	414	341	392	41	1,188	233
R4 年度	95	125	220	424	412	475	19	1,330	165
比 較	9	△12	△3	△10	△71	△83	22	△142	68

・母子保健指導

区 分	赤ちゃん 家庭訪問	養育支援 家庭訪問		乳幼児 相談日		妊婦教室 両親教室	
	訪問世帯数	実数	延数	回数	件数	回数	人数
R5 年度	347	62	134	12	187	11	111
R4 年度	420	57	83	12	212	8	52
比 較	△73	5	51	0	△25	3	59

区 分	育児教室		子育て講話		5 歳児相談	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数
R5 年度	6	68	10	177	4	28
R4 年度	6	69	9	88	4	25
比 較	0	△1	1	89	0	3

・乳幼児健康診査事業の実施
（乳児健診）

区 分	受診者数	要精検	要観察
R5 年度	761	29	162
R4 年度	874	9	237
比 較	△113	20	△75

（先天性股関節脱臼検診）

区 分	受診者数	有所見	要治療
R5 年度	328	5	1
R4 年度	375	9	0
比 較	△47	△4	1

(新生児聴覚検査)

区 分	受診者数	要精検
R5 年度	338	5
R4 年度	393	4
比 較	△55	1

(1歳6か月児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R5 年度	450	7	129	450
R4 年度	478	8	157	491
比 較	△28	△1	△28	△41

(3歳児健診)

区 分	受診者数	要精検	要観察	歯科健診
R5 年度	498	77	130	498
R4 年度	461	27	151	460
比 較	37	50	△21	38

・特定健診・脳ドック等各種検診事業 (P. 198～199・213～214)

(国民健康保険特定健康診査・脳ドックの状況)

区 分	特定健康診査		脳ドック		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	2,630	26,954	173	2,755	2,803	29,709
R4 年度	2,671	28,468	185	2,917	2,856	31,385
比 較	△41	△1,514	△12	△162	△53	△1,676

(後期高齢者医療健康診査・脳ドック・歯科健診の状況)

区 分	健康診査		脳ドック		歯科健診		計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	1,413	15,765	132	2,106	180	827	1,725	18,698
R4 年度	1,152	12,792	136	2,164	162	725	1,450	15,681
比 較	261	2,973	△4	△58	18	102	275	3,017

●高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の推進

高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため国民健康保険の保健事業、介護予防事業と一体的に高齢者の保健事業に取り組みました。

・ハイリスクの高齢者に対する個別的支援 (ハイリスクアプローチ)

区 分	生活習慣病重症化予防		低栄養・フレイル予防		健康状態不明者家庭訪問	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
R5 年度	35	39	65	67	15	15
R4 年度	40	44	74	76	11	13
比 較	△5	△5	△9	△9	4	2

・通いの場等への積極的な関与 (ポピュレーションアプローチ)

前年度に引き続き、

- ① 保健師や栄養士、歯科衛生士によるフレイル・低栄養・オーラルフレイル予防に関する講話
- ② フレイル予防を目的とした高齢者健康づくり教室 (プレミアム健康度チェック)
- ③ 年度内に75歳に到達する人を対象に、後期高齢者医療制度の説明やフレイル予防を目的とした健康講話、身体測定等を行う「えにわウェルカム75」事業を実施しました。

●生涯を通じてスポーツに関わり心身ともに健康になれる環境

・スポーツイベントの充実（P. 118～119）

（市民スポーツ交流機会の開催状況）

（単位：人）

大会名	開催日	会場	参加人数
えにわ健康・スポーツフェスティバル	9/30	はなふる、漁川河川敷	640
少年少女ミニバレー大会	12/10	総合体育館	75
恵庭クロスカントリースキー大会	2/18	畜産共進会場	561
市民スポーツ大会（17大会）	通年	市内体育施設他	2,323
合 計	-	-	3,599

・各種スポーツ機会の提供（P. 118～119）

（スポーツ教室・講習会等の開催状況）

（単位：人）

事業名	期間／回数	会場	参加人数
フィットネスエクササイズ※	通 年 45 回	総合体育館	1,478
各種スポーツ実技指導※	通 年 276 回	総合体育館他	7,793
スポーツ少年団スポーツテスト会	8/8・1/20	総合体育館	319
合 計	-	-	9,590

※指定管理者委託事業

・スポーツ団体の育成・強化（P. 119）

1) 市内スポーツ団体の会員登録状況

（単位：団体、人）

区 分	スポーツ協会		スポーツ少年団	
	団体数	会員数	団体数	会員数
R5 年度	22	1,853	32	1,009
R4 年度	22	1,883	31	947
比 較	0	△ 30	1	62

2) スポーツ振興基金運用事業（大会出場者／団体への補助金）

（単位：人、団体）

区 分	対象者		種 目
	個 人	団 体	
国際大会	3	0	野球、スノーボード、スキー
全国大会	21	37	陸上、バレーボール、卓球、空手道、テニス、サッカー、野球、バスケットボール他
高校総体	0	5	陸上、体操、空手道、スキー
高校選抜	0	5	陸上、駅伝競走、卓球、サッカー
国民体育大会	0	5	バスケットボール、陸上、空手道、ホッケー、バレー、卓球、ソフトボール、ゴルフ
全道大会	8	33	陸上、バレーボール、卓球、剣道、テニス、サッカー、野球、バスケットボール他
合 計	32	85	

・屋内体育施設の整備充実（P. 119～120）

1) 屋内体育施設の維持補修事業

4,750千円

- ・総合体育館格技室床研磨等改修、弓道場安土整備、デジタルミキシングエンジン修理

2) 学校開放事業の利用状況

（単位：団体、人）

区 分	R5 年度	R4 年度	比 較
利用団体数	129	116	13
利用者数	45,142	30,434	14,708

3) 屋内スポーツ施設等利用状況

(単位：人)

区 分	R5 年度		R4 年度		比 較
	個 人	団 体	個 人	団 体	
総合体育館	77,778	60,492	58,397	48,465	31,408
島松体育館	9,454	30,002	10,394	21,183	7,879
駒場体育館	-	-	4,360	16,377	△20,737
福住屋内運動広場	3,265	16,593	3,656	14,524	1,678
合 計	197,584		177,356		20,228

※団体の利用状況に大会を含む

・屋外体育施設の整備充実 (P. 119~120)

1) 屋外体育施設の維持補修事業

22,353千円

- ・総合体育館地下タンク内面ライニング工事
- ・恵み野中央公園、中島公園テニスコート人工芝補修工事
- ・和光地区市民プールシート改修工事
- ・パークゴルフ場乗用芝刈機更新事業
- ・島松小学校プール給水管改修、鉄骨塗装膜剥離落下防止シート設置

2) 屋外スポーツ施設利用状況

(単位：人)

区 分	R5 年度	R4 年度	比 較
恵庭公園野球場	11,018	8,984	2,034
恵み野中央公園野球場	7,073	6,257	816
かしわ公園野球場	2,645	2,273	372
恵庭公園庭球場	10,488	9,348	1,140
恵み野中央公園庭球場	8,536	6,321	2,215
中島公園庭球場	10,216	7,048	3,168
ふるさと公園庭球場	1,272	1,012	260
めぐみの森公園庭球場	73	78	△5
あやめ緑地公園庭球場	270	133	137
恵庭公園陸上グラウンド	7,882	7,621	261
恵庭公園球技場	8,858	8,686	172
島松屋外運動場	5,916	3,137	2,779
市民スケート場(夏期)	3,096	2,300	796
市民スキー場(夏期)	0	0	0
市民スケート場(冬期)	7,317	11,402	△4,085
市民スキー場(冬期)	10,387	9,782	605
島松スケート場(冬期)	3,743	6,275	△2,532
恵庭中央パークゴルフ場	17,472	19,226	△1,754
漁川カワセミパークゴルフ場	6,824	8,310	△1,486
漁川アイリスパークゴルフ場	4,640	4,913	△273
島松パークゴルフ場	3,035	3,134	△99
北栄会館パークゴルフ場	395	510	△115
合 計	131,156	126,750	4,406

3) 市民水泳プール利用状況

(単位：人)

区 分	R5 年度	R4 年度	比 較
恵庭水泳プール	5,919	0	5,919
島松水泳プール	4,283	0	4,283
和光水泳プール	8,095	0	8,095
若草水泳プール	6,945	0	6,945
恵み野旭水泳プール	6,476	0	6,476
合 計	31,718	0	31,718

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響により未開設

4) 恵庭南高校水泳プール利用状況

区 分	R5 年度	R4 年度	比 較
利用者数	138	124	14

目標 09 持続可能な地域医療・介護体制

安心して医療が受けられる環境を整備します。

利用者のニーズに応じた介護サービスの質の確保と向上をめざし、地域密着型サービスについては指定、指導監督を行うなど、適正な介護サービスの運営に努めました。

保健・医療・福祉の関係機関と地域が連携し、一貫性・連続性のある総合的な介護予防システムを確立し、健康づくりと介護予防対策の強化・充実に努めました。

国民健康保険事業の安定、医療費補助制度の推進など、医療保障の充実に努めました。

●夜間・休日診療体制の維持（P. 113）

医療の空白時間の解消のため、夜間・休日急病診療所の運営を行いました。

・休日・夜間診療事業

区 分	休 日		土 曜 日		夜 間		合計患者数
	診療日数	患者数	診療日数	患者数	診療日数	患者数	
R5 年度	67	749	50	212	360	966	1,927
R4 年度	66	449	50	135	359	723	1,307
比 較	1	300	0	77	1	243	620

・救急医療システム

設置箇所：夜間急病診療所 1 か所、救急告示病院 3 か所、消防署 1 か所

●地域包括ケアシステムの発展（P. 89・234・239～241）

・高齢者の状況

区 分	令和 6 年 3 月末	令和 5 年 3 月末
総 人 口	70,023 人	70,069 人
高齢者数	20,111 人	20,028 人
高齢化率	28.7 %	28.6 %

・審査会の状況

区 分	R5 年度	R4 年度
審査会回数	63 回	55 回
審査件数	2,772	2,152
審査件数/回	44 件	39 件

・要介護認定等の状況（第 1 号被保険者）

認定者数（令和 6 年 3 月末）

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
人 数	656	528	750	502	282	315	243	3,276

・介護保険サービスの利用状況（第 1 号被保険者）

居宅サービス受給者数（令和 6 年 3 月審査分）

区 分	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
人 数	289	341	527	389	171	122	64	1,903

施設サービス受給者数（令和 6 年 3 月審査分）

区 分	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	介護医療院	計
人 数	95	208	サービス廃止	14	317

地域密着型サービス受給者数（令和 6 年 3 月審査分）

区 分	地域密着型サービス
人 数	593

・第1号被保険者の保険料の状況

所得段階	保険料（円）	被保険者数	割 合
第1段階	11,500	3,728	18.7%
第2段階	17,200	1,926	9.7%
第3段階	31,600	1,576	7.9%
第4段階	48,900	2,307	11.6%
第5段階	57,600	2,487	12.5%
第6段階	72,000	2,432	12.2%

所得段階	保険料（円）	被保険者数	割 合
第7段階	74,800	3,253	16.4%
第8段階	86,400	1,223	6.2%
第9段階	100,800	436	2.2%
第10段階	106,500	517	2.6%
計		19,885	100%

・保険料の収納状況

	R5 年度	R4 年度
収納率	99.86%	99.90%

・保険料の減免状況

人数	減免額
3	71,900 円
うち新型コロナウイルスに係る減免	
0	0 円

・介護保険サービス利用者負担軽減事業

社会福祉法人による生活困窮者に対する軽減措置（利用者負担のうち 1/4 を軽減）

対象者数 57人 経費 1,484千円

・高齢者相談支援事業

区 分	相談者数(人)	相談件数(件)
高齢者相談窓口	608	734

・地域包括支援センターの設置

（高齢者相談事業）

区 分	みなみ包括		ひがし包括		きた包括		中島・恵み野包括		計	
	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数	相談者数	相談件数
高齢者（一般）	245	923	265	1,264	136	642	220	1,240	866	4,069
総合事業対象者	59	485	72	743	34	662	16	395	181	2,285
要支援者	279	3,003	318	3,494	160	2,950	162	4,958	919	14,405
要介護者	67	303	91	712	31	257	56	528	245	1,800
障がい者	0	0	3	15	0	0	0	0	3	15
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	650	4,714	749	6,228	361	4,511	454	7,121	2,214	22,574

（指定介護予防支援事業）

区 分	みなみ包括	ひがし包括	きた包括	中島・恵み野包括	計
要支援認定者（契約者） 介護予防支援数（実人数）	202	239	140	120	701
要支援認定者（契約者） 介護予防支援数（延人数）	2,693	3,056	2,709	4,626	13,084
予防給付請求件数	1,607	2,036	2,430	1,810	7,883

・福祉サービスの推進

事業名	利用者数	年間利用数
配食サービス事業	209 人	36,448 食
外出支援サービス事業	125 人	2,333 回
訪問理美容サービス事業	18 人	67 回
除雪サービス事業	461 世帯	10,195 回出動

・ひとり暮らし高齢者等対策事業の推進

- ・緊急通報システム端末機貸与事業 年度末設置台数 277 台
- ・訪問サービス事業 利用者数 7 人、配布した乳酸飲料 264 本
- ・有償サービス事業（なんもだよ） 利用者数 50 人 利用回数 130 回

・地域支援事業（任意事業）の実施

事業名	実施概要
家族介護者交流事業	合同交流：開催回数4回 参加者数52人 随時交流：10回 参加者数57人
認知症地域支援普及事業	認知症サポーター養成講座（開催回数：16回、受講人数：908人）
介護支援専門員支援事業	利用件数 28 件
成年後見制度利用支援事業	利用件数 5 件 市長申立 0 件

●医療費の助成

・重度障がい者医療費の助成（P.96）

（受給者数）

区分	身障者	3級外部	知的障がい者	精神障がい者	合計
R5 年度	1,038	250	184	20	1,492
R4 年度	1,056	266	206	18	1,546
比較	△18	△16	△22	2	△54

（助成金額） 道補助対象分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	1,326	23,711	25,315	61,583	26,641	85,294
R4 年度	1,433	24,822	23,389	62,119	24,822	86,941
比較	△107	△1,111	1,926	△536	1,819	△1,647

（助成金額） 市単独分

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	292	5,555	5,074	9,034	5,366	14,589
R4 年度	258	5,589	5,180	10,165	5,438	15,754
比較	34	△34	△106	△1,131	△72	△1,165

（助成金額） 合計

区分	入院		入院外		合計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	1,618	29,266	30,389	70,617	32,007	99,883
R4 年度	1,691	30,410	28,569	72,285	30,260	102,695
比較	△73	△1,144	1,820	△1,668	1,747	△2,812

・子ども医療費の助成（P. 99）

（受給者数）

区 分	0～2歳児	3～6歳児	小学生	中学生	合 計
R5 年度	1, 174	1, 830	3, 056	31	6, 091
R4 年度	1, 243	1, 836	3, 098	37	6, 214
比 較	△69	△ 6	△42	△6	△123

※R4 より小学 4～6 年生の通院助成を開始

（助成金額）

区 分	入院（未就学児）		入院外（未就学児）		入院（小学生）		通院（小学生）	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	509	20, 299	59, 378	81, 738	70	2, 633	20, 262	50, 270
うち道補助対象分	509	17, 778	59, 378	64, 009	70	2, 633	－	－
うち市単独分(一部)	(95)	2, 521	(28, 795)	17, 729	－	－	－	－
うち市単独分(全部)	－	－	－	－	－	－	20, 262	50, 270
R4 年度	413	14, 459	49, 442	66, 595	63	1, 922	32, 250	41, 252
比 較	96	5, 840	9, 936	15, 143	7	711	△11, 988	9, 018

区 分	入院（中学生）		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	22	704	80, 241	155, 644
うち道補助対象分	－	－	59, 957	84, 420
うち市単独分(一部)	－	－	(28, 890)	20, 250
うち市単独分(全部)	22	704	20, 284	50, 974
R4 年度	27	952	82, 195	125, 180
比 較	△5	△248	△1, 954	30, 464

※R4 より小学 4～6 年生の通院助成を開始

（未熟児養育医療費助成）

区 分	実人数（人）			件数（件）			助成金額（千円）		
	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計	医療費	食事療養費	計
R5 年度	14	14	28	32	31	63	3, 101	799	3, 900
R4 年度	19	19	38	46	44	90	4, 187	975	5, 162
比 較	△5	△5	△10	△14	△13	△27	△1, 086	△176	△1, 262

・ひとり親家庭等医療費の助成（P. 86）

（受給者数）

区 分	親	子	計
R5 年度	749	1, 118	1, 867
R4 年度	756	1, 138	1, 894
比 較	△7	△20	△27

（助成金額）

〔親〕（道補助対象分）（市単独分）

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	55	1, 876	10, 221	20, 652	10, 276	22, 528
R4 年度	65	2, 203	10, 042	20, 897	10, 107	23, 100
比 較	△ 10	△ 327	179	△ 245	169	△ 572

〔子〕（道補助対象分）（市一部負担分含む）

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	40	1, 543	11, 977	20, 412	12, 017	21, 955
R4 年度	33	1, 472	10, 852	18, 565	10, 885	20, 037
比 較	7	71	1, 125	1, 847	1, 132	1, 918

〔合計〕

区 分	入 院		入 院 外		合 計	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
R5 年度	95	3, 419	22, 198	41, 063	22, 293	44, 482
R4 年度	98	3, 675	20, 894	39, 462	20, 992	43, 137
比 較	△3	△256	1, 304	1, 601	1, 301	1, 345

●国民健康保険・後期高齢者医療の状況

・国民健康保険

（加入状況）

区 分	世 帯 数		被 保 険 者 数	
	年平均	対市全世帯%	年平均	対市全人口%
R5 年度	7, 940	22. 37	11, 476	16. 39
R4 年度	8, 221	23. 48	12, 107	17. 28
比 較	△281	△1. 11	△631	△0. 89

（収支状況）

区 分	歳入総額（千円）	歳出総額（千円）	差引（千円）
R5 年度	6, 657, 569	6, 589, 894	67, 675
R4 年度	6, 686, 439	6, 599, 564	86, 875
比 較	△28, 870	△9, 670	△19, 200
増加率%	△0. 43	△0. 15	

(診療費の状況)

区 分	件 数	受診率%	費 用 額		
			金額 (千円)	1 件当り (円)	1 人当り (円)
R5 年度	126,598	1,103.15	4,226,039	33,382	368,250
R4 年度	129,465	1,069.34	4,284,155	33,091	353,858
比 較	△2,867	33.81	△58,116	291	14,392
増加率%	△2.21		△1.36	0.88	4.07

・後期高齢者医療

(加入状況)

区 分	被 保 険 者 数	
	年平均	対市全人口%
R5 年度	10,533	14.99
R4 年度	10,143	14.44
比 較	390	0.55

(収支状況)

区分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	差引 (千円)
R5 年度	1,151,033	1,131,154	19,879
R4 年度	1,101,787	1,083,103	18,684
比 較	49,246	48,051	1,195
増加率%	4.28	4.25	

基本目標Ⅲ 希望と活力に満ちたまち

目標１０ いきいきと働きやすいまち

地理的優位性等の強みを活かし、社会情勢や市民ニーズ(職種や就業形態)を踏まえた企業誘致を推進するとともに、「労働者が安心して就業し、働き続けることができる環境の整備」や「後継者を含む人材の育成を目的とした各種支援」等を実施しました。

●企業誘致環境の整備

民間が所有する工業団地内の未操業地について、仲介・斡旋を継続的に行うことなどの誘致活動を進めた結果、２社（新規立地２社）の立地が決定しました。

●多様な人材を活かせる労働環境の整備

・就職促進事業（P.126）

３，７５８千円

求職者の就職支援を目的とした合同企業説明会を実施しました。また、企業採用担当者向けに主婦層、シニア層の活用・採用方法や活用事例等について学べるセミナーを開催し、市内企業の人手不足に対する支援を行いました。さらに、市内に住む若年層の他市町村への労働力流出を防ぐことを目的に、広報媒体による市内企業の働く場としての魅力発信を行いました。

１．就職促進事業

（１）合同企業就職説明会（パート・アルバイト向け） 令和５年１０月２７日

参加者 ７２名 参加企業 １０社

（２）合同企業就職説明会（正社員向け） 令和５年１０月２７日

参加者 ４７名 参加企業 １２社

上記（１）、（２）による就職決定者 １９名

２．採用力向上支援事業

企業採用担当者向けセミナー 令和５年９月２２日

受講企業 ２７社

３．企業情報発信事業

広報媒体による周知

掲載企業 ２２社、求人雑誌・情報発信ＷＥＢサイトへの掲載

・求職・労働相談（P.126）

６６１千円

雇用安定対策として、国・道及び関係機関の実施する職業安定事業と連携を密にしながら、地域職業相談室を運営することで求人情報の把握や市民に対する求人情報の発信、求職活動の利便性向上を図りました。

また、季節労働者の冬期間の生活安定を図ることを目的として通年雇用促進支援事業を実施しました。

地域職業相談室

年 度	ジョブガイド恵庭（ふるさとハローワーク）				恵庭市相談室	
	相談件数	新規求職者数	企業紹介件数	就職決定者数	窓口相談	電話相談
R5 年度	3,129	566	889	280	15	5
R4 年度	3,819	622	1,090	354	10	12
比 較	△690	△56	△201	△74	5	△7

通年雇用促進支援事業の状況

事業名	受講者等		通年雇用化勤務決定者	
	計画	実績	計画	実績
①事業所向け労務管理講習事業	15 社	16 社	1 人	2 人
②事業所向け経営支援講習事業	70 社	68 社	5 人	6 人
③人材確保育成助成金制度普及啓発事業	415 社	370 社	8 人	12 人
④求人企業情報提供事業（企業ガイドブック Web 版掲載）	1,177 社	935 社	9 人	11 人
⑤事業所向け調査研究事業	850 社	937 社	—	—
⑥事業所向けドローン関連業務委託事業	30 社	32 社	2 人	2 人
⑦通年雇用化支援講習業務委託事業	25 人	33 人	1 人	2 人
⑧建設技能資格取得業務委託事業	17 人	16 人	2 人	5 人
⑨施設管理技能資格取得業務委託事業	6 人	3 人	1 人	0 人
⑩介護関連資格取得業務委託事業	3 人	0 人	1 人	0 人
⑪季節労働者向けドローン関連業務委託事業	30 人	27 人	1 人	0 人
⑫商業・サービス業技能講習事業	30 人	32 人	2 人	2 人
⑬合同企業就職説明会事業	20 人	35 人	2 人	0 人
⑭季節労働者通年雇用化情報提供事業	900 人	1,213 人	7 人	5 人
⑮季節労働者資格取得支援事業	6 人	7 人	1 人	0 人
⑯季節労働者調査研究事業	900 人	717 人	—	—
⑰建設業安全衛生・特別教育業務委託事業	6 人	16 人	1 人	0 人
⑱季節労働者相談事業	50 人	91 人	1 人	0 人
合 計	4,550 件	4,548 件	45 人	47 人
目標達成率	99.9%		104.4%	

・シルバー人材センター事業支援（P.126）

19,304千円

高齢者の生きがいの充実、社会参加の推進を図り、高齢者の能力を活かした活力ある地域社会を目指し、恵庭市シルバー人材センターへ支援を行いました。

シルバー人材センターの事業状況

年 度	公 共 事 業		そ の 他		合 計	
	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)	受注件数	金額(千円)
R5 年度	316	95,636	2,599	148,949	2,915	244,585
R4 年度	320	96,371	2,813	161,075	3,133	257,446
比 較	△4	△735	△214	△12,126	△218	△12,861

目標 1 1 恵まれた土地を生かした農林業

農地・農業用排水施設の整備や水利施設の保全管理の推進、農業の多様な担い手の育成により、経営基盤の強化を図り、農畜産物の生産体制の継続と発展に努めました。

●生産基盤整備の充実

農地の効率的な利用と経営規模拡大を図り、土地基盤整備や排水路および関連施設の適切な維持管理を行い、地域共同の取組による環境保全に向けた先進的な営農活動を支援しました。

- ・排水路管理事業（P. 130） 6, 215 千円
排水路床ざらい、排水路雪割、維持補修工事
- ・排水路改修事業（P. 131） 5, 995 千円
排水路改修工事（基線、西 4 線）
- ・内水排除施設管理事業（P. 131） 31, 476 千円
排水機場管理事業（北島、西 4 線、中島松、漁太、漁太川排水機場）
釜加地区内水排水機場管理費負担金（南 2 1 号・南 1 8 号排水機場）
- ・水利施設整備事業（P. 131） 7, 247 千円
排水機場施設整備事業（北島排水機場 NO. 1 蓄電池交換・水位計盤バッテリー交換ほか）
- ・国営かんがい排水事業（P. 131） 8, 939 千円
国営土地改良事業地元負担金（北島地区）
- ・多面的機能支払交付金事業（P. 131） 103, 950 千円
農地維持支払交付金及び資源向上維持支払交付金
- ・国営造成施設（揚水機場）管理事業費（P. 132） 48, 696 千円
揚水機場管理事業（千歳川第 1・第 2 揚水機場）

●経営の強化と担い手の育成・確保

関係機関と連携し技術研究や経営支援を行い、農業経営の改善と安定を進めました。

また、経営管理能力の向上や新たな担い手の育成などの体質強化を図るとともに、新規就農や女性の経営参画を支援し、子どもが木に親しみを持てる土壌づくりを推進しました。

- ・木育ファーストトイ事業費（P. 128） 10, 321 千円
乳幼児に地域の木材を使用したドーナツ型の木のおもちゃ（森の輪）と積み木を配布
配布実績 232 人
- ・農業後継者対策費（P. 128） 3, 975 千円
農業研修派遣事業 実績 15 件（青年農業者道外研修 3 名、女性農業者道内研修 12 名）
農業後継者育成事業 申請者なし
農業次世代投資資金（経営開始型）事業 実績 2 件（個人 1 名、夫婦 1 組）
- ・農業者支援資金利子補給事業（P. 128） 293 千円
スーパー L 資金に係る利子補給

- ・ **農業振興対策事業 (P. 128)** 343, 621千円
 簡易耕土改良施工用作業機械借り上げ (2件 事業面積200a)、
 ジャガイモシストセンチュウ対策 (10件 作付面積2,965a)、
 経営所得安定対策推進事業、外国人技能実習生受入サポート事業 (4件)、
 強い農業づくり事業 (2件)、スマート農業推進事業 (25件)、
 農地利用効率化等支援事業 (2件)、持続的畑作生産体系確立緊急対策事業 (16件)、
 麦・大豆産地生産性向上事業 (1件)、農業振興イベント支援事業 (1件)、
 土地改良区決済金等支援事業 (67件)、肥料高騰対策支援事業 (128件)

- ・ **環境保全型農業直接支払交付金事業 (P. 129)** 4, 683千円
 環境保全型農業への取り組み支援 (9件 対象面積8,364a)

- ・ **畜産振興事業費 (P. 129)** 4, 216千円
 酪農経営改善事業 (11件)、家畜自衛防疫事業 (25件、消毒回数6回)
 酪農ヘルパー推進事業 (10件)、飼料高騰対策支援事業 (21件)

- ・ **市営牧場管理事業 (P. 130)** 18, 277千円
 酪農事業の発展および飼料基盤確保のため、若牛の集団育成を実施
 (運営期間: 5月24日～10月20日 受入頭数: 197頭)

●農商工等連携による地元農畜産物を生かした商品開発、ブランド化の推進

- ・ **恵庭市農商工等連携推進ネットワーク (P. 134)**
 市内の企業・団体が参画して設立した「恵庭市農商工等連携推進ネットワーク」の活動に加え、友好都市協定を結んだ藤枝市と設立した連携推進ネットワークにより、それぞれの特徴を生かした産業振興や農畜産物の販路開拓に取り組みました。
 会員数 108会員
 - (1) 交流促進事業
 - ・ 定期総会 (書面開催) 令和5年9月25日～10月4日 回答数55人
 - ・ セミナー・勉強会 令和6年3月18日 参加者37人
 - (2) 販路拡大事業
 - 北海道産取引商談会 (東京会場・大阪会場) 出展者各2者
 - (3) 情報発信事業
 - メールニュース24回
 - アンテナショップEnimarche (エニマルシェ) を活用したフェアを開催し、会員商品のPR及び認知度向上を図りました。
 - (4) 新商品開発支援事業
 - 新商品数11品 (市内連携商品10品、藤枝市内連携商品1品)
 - 勉強会にて、商品開発や販路拡大を目的とした個別商談会を実施
 - 個別商談会 参加者3者
 - (5) 藤枝市との連携事業
 - ネットショップ藤の恵の運営 販売実績 84商品出品 (うち恵庭市26商品)
 - 事業者間の交流 (産業祭の出展)
 - 藤枝市フードスマイルフェスティバル (令和5年10月29日) 恵庭市から2者
 - シン・えにわん産業祭2023 (令和5年9月9日) 藤枝市から1者
 - 出品商品 2商品
 - 商品開発補助金
 - 補助金交付件数 1者

・シン・えにわん産業祭２０２３

産業祭では、地元の農畜産物や市内の食品加工製造業の展示・販売を通じて恵庭の魅力をＰＲし、藤枝市から参加のあった事業者と市内事業者２者との個別マッチングを実施しました。

主な出展コーナー

【市内企業団体の出展・特産品販売】【ワークショップストリート】【はたらく車大集合】

【はなふるフードマーケット】【パン・スイーツマルシェ】

開催日：令和５年９月９日

来場者数約９，０００人 出展企業・団体３５

目標１２ 暮らしを支える商業

地域に根ざした魅力ある商店街づくりを行うため、商工関係団体との連携による地元消費の喚起や地域の特性を生かすとともに、中小企業・小規模事業者の経営課題や新たな事業展開に対し、関係機関と連携し相談、助言を行うなど、支援体制を構築し、市内商業の活性化に努めました。

●商店街の担い手育成や新規開業・創業者への支援

・商店街活性化振興事業（P.134）

1, 447千円

消費者の市外流出に歯止めをかけ、高齢化社会に対応した商業形成を図るため、市内商店街・商店会が連携するとともに、地域住民の協力や理解を得るなど、地域に根ざした魅力ある商店街・商店会づくりに努めました。

商店街活力再生促進事業補助金

- ・恵み野商店会：恵み野夏祭り、ハロウィン、キャンドルナイト
- ・恵み野やすらぎストリート：やすらぎストリートであ・そ・ぼ！！事業
- ・花さんぽストリート：恵み野花さんぽストリートにぎわい創出環境整備事業
- ・恵み野ふれあいストリート：恵み野ふれあいストリートにぎわい創出環境整備事業
- ・恵庭駅通商店街振興組合：駅まちプラザ内にフリーWi-Fiを設置するにぎわい創出事業

・起業家支援事業（P.133）

7, 143千円

市内で新たに开店する事業者に対する新規出店支援補助金の交付、起業する際の様々な疑問や悩みを解消し事業を成功に導くノウハウを学ぶためのセミナーや専門家による個別相談会を開催しました。

●市民をまきこんだにぎわいづくりや地元消費の推進

・市民参加型・えにわ版マルシェ推進事業（P.136）

322千円

市民や各団体が垣根を越えて協力し、多くの人々が楽しく、幸せになる恵庭らしいマルシェを開催することにより、まちの活性化、市内経済の振興を図りました。

・えにわマルシェ本開催（夏）

会 場： 緑と語らいの広場 えにあす
開催日： 8月11日
来場者数： 1, 636人
出店数： 28店舗

・えにわマルシェ本開催（冬）

会 場： 花の拠点（はなふる）
開催日： 2月17日
来場者数： 5, 000人（はなふるスノーフェスタ2024全体）
出店数： 10店舗

・プチマルシェ

- ①会 場： 道と川の駅「花ロードえにわ」
開催日： 5月3日～10月29日（計42日間）
出店数： 延140店
- ②会 場： フレスポ恵み野
開催日： 12月17日・2月25日（計2日間）
出店数： 延10店舗

・出前マルシェ（花とくらし展）

会 場： 花の拠点（はなふる）
開催日： 6月24日～7月2日（計9日間）
出店数： 延29店舗

目標 13 来てみたいまち 住んでみたいまち

来てみたいまち住んでみたいまちをめざし、観光による来訪はもとより、花のまちや恵庭溪谷など魅力ある観光資源の情報発信の強化と新たなブランド戦略や、シティプロモーションの充実に努めました。また、地元産品や豊かな自然など恵庭市の魅力発信を強化し、ふるさと納税制度の推進に取り組みました。

●魅力ある恵庭らしい観光資源の活用・創出

恵庭市の観光資源である「恵庭溪谷」「花のまち」を活かした観光の取組みを推進するため、推進協議会をはじめ盤尻地区の観光とまちづくりについて懇談会を開催しました。

また第2期恵庭市観光振興計画に基づき、情報誌及び観光WEBサイトにおいて情報発信を行ったほか、ツーリズムEXPOに参加するなど魅力の発信に努めました。

恵庭溪谷が最も魅力的な時期である紅葉時期に体験型イベントを実施し、市内外の来訪者に対して市内観光資源のPRに努めました。

・令和5年度 恵庭市観光推進協議会（1回：令和5年11月8日）

・盤尻地区観光まちづくり懇談会

開催日：令和6年3月19日

・緑のふるさと森林公園ふれあい乗馬体験

開催日：令和5年10月8日

場 所：緑のふるさと森林公園

参加者：延167人

・恵庭市公式HP「花と観光」閲覧総数年間 155,511件（前年度110,761件）

・恵庭市公式観光サイト「ENIWA EYE」年間 124,478件（前年度181,652件）

・観光ガイドブック「旅するえにわ」改訂・増刷（日本語版9,500部、英語版1,000部）

・恵庭花のまちづくり推進会議事業（P.137）

3,000千円

平成30年に策定した新・花のまちづくりプランでは「美しいまちで暮らそう」を目標としました。「美しい環境がある」「美しい人々がいる」の2つのテーマのもと市民、行政、団体、企業が協働により花と緑を生かした環境作りに取り組みました。

（1）ガーデンフェスタ恵庭2023 第34回恵庭花と暮らし展

（2）花マップの配布

（3）花と緑のまちづくり講演会

（4）YouTube動画作成、はなふるPR動画編集

・ガーデンフェスタ記念事業（P.138）

13,853千円

恵庭市をメイン会場として開催したガーデンフェスタを、一過性のイベントで終わらせるのではなく、花のまちづくりを継続していくために「ガーデンフェスタその後検討懇談会」を開催しました。

ガーデンフェスタに関わった皆さまに参加いただき、今後も遺したいものや新たに実施したいものなどについての提言をいただきました。それら提言について取り組むガーデンフェスタ記念事業を実施し、改めて「恵庭市の花のまちづくり」のPRに努めました。

（1）ガーデンフェスタ恵庭2023 第34回恵庭花と暮らし展

6月24日～7月2日の9日間のロングラン開催。合計7万人を超える方々が来場。

（2）恵庭市花と緑の記念日制定セレモニー 7月13日

小学生による記念日宣言、半崎美子氏によるミニコンサートを開催。

（3）フラワーギフトキャンペーンの実施 7月3日～7月17日

市内のフラワーショップ協力のもと、花を購入した方にキャンペーンを実施。

（4）ガーデナー講習会（お庭の学校） 3月23日

花の拠点（はなふる）を設計した高野ランドスケープの村田氏と、7つのガーデンを設計したガーデナー（令和5年度は3ガーデン分）による講習会を開催。

・台湾経済交流推進事業（P.134）

1, 355千円

令和5年度は、次世代を担う台湾・恵庭の子どもたちに目を向け、訪日教育旅行を中心に事業展開を実施しました。また、WEBを活用した教育旅行・一般旅行者向けの多言語情報発信を実施しました。

- ・恵庭市公式観光サイト「ENIWA EYE」の運営
観光PR動画等の内容を更新
情報発信：21回、SNS広告を実施
- ・教育旅行受入：生徒15人、教員2人、保護者18人

・花の拠点整備事業（P.137）

8, 342千円

- ・花ロードえにわウッドデッキ改修
- ・花ロードえにわウッドデッキ周辺植栽工事 等

・花の拠点運営事業（P.137）

160, 352千円

指定管理者による管理運営を開始し、民間事業者との協働により一層の誘客促進と利用者満足度向上に取り組みました。「全国都市緑化北海道フェア」が開催された令和4年度と比較すると各施設の入込数は若干の減少があるものの、花の拠点内では大小さまざまなイベントが開催されたほか、キッチンカーの出店やRVパーク、えにわファミリーガーデンりりあの利用者数は増加しており、多くのにぎわいを見せました。

- ・各施設入込数 花ロードえにわ 1, 092, 661人
農畜産物直売所 398, 691人
センターハウス 216, 064人
- ・イベント実績 はなふるアートファンタジア 来場者数約3, 000人
はなふるスノーフェスタ 来場者数約5, 000人
はなふるでいず
はなふるバーベキュー広場

花の拠点運営関連歳入決算

（単位：円）

歳 入 科 目	決 算 額
土地使用料（道と川の駅）	15,608
公園使用料（道と川の駅）	22,399,161
公園使用料（農産物直売所）	28,400,000
公園使用料（宿泊施設）	3,679,504
公園使用料（魅力向上事業エリア）	3,120,374
公園使用料（都市・地域再生等利用区域）	1,170
土地建物貸付収入	232,074
合計	57,847,891

・シェアサイクル運営事業（P.135）

1, 520千円

恵庭駅、恵み野駅及び「はなふる」の3か所にシェアサイクルポートを設置し、オープンガーデンや市内観光施設、飲食店等への周遊促進を図りました。

利用実績：350人

（居住地内訳）：市内69人/道内72人/道外182人/不明27人

（プラン内訳）：1時間184人/4時間161人/12時間5人

・市内消費拡大事業（P. 135）

6, 100千円

恵庭市観光デジタルマップ「はなたびマップ」を活用し、花の拠点「はなふる」を中心に市内の飲食店や観光スポットを訪れていただくことを目的とした市内周遊プラン「はなたび恵庭」を作成しました。プラン作成にあたっては、市民とのワークショップやモニターツアーを実施し、花・食・自然を楽しむ3コースを作成しました。SNS広告によるPRを実施したほか、「はなふる」内宿泊施設から市内飲食店等への移動に使用できるタクシー利用券「はなたびタクシー利用券」を発行し、宿泊施設利用者の市内周遊促進・消費促進を図りました。

- ・「はなたび恵庭」ワークショップ参加者数 延34名、モニターツアー参加者数 延22名
- ・「はなたび恵庭」閲覧回数 8, 845回（はなたびマップ内のスポット閲覧数）
- ・「はなたび恵庭」Instagram広告インプレッション（表示）回数 668, 957回
- ・はなたびタクシー利用券 利用枚数 1, 964枚

・ふるさと納税推進事業（P. 64）

1, 334, 590千円

民間のふるさと納税サイトを新たに5サイト追加し、令和6年3月末現在20サイトで寄附を募りました。返礼品の充実に努めるとともに、主要返礼品の配送日数の短縮、動画制作や雑誌・インターネットを活用した広告宣伝などの取組をしました。寄附は首都圏を中心に、広く全国から寄せられており、この事業を通して、さらに、恵庭の魅力発信や知名度の向上につながりました。

令和5年度ふるさと納税 111, 526件 寄附総額 2, 334, 572千円

※ふるさと納税ポータルサイトを通じた寄附

●移住・定住の促進

・移住促進事業（P. 64）

10, 670千円

移住・定住を促進するため、移住相談会への出展、オーダーメイドツアーの実施、移住・定住サイトにおけるPR及び移住者向け冊子の発行、移住者交流会などを実施しました。また、流通空家を増やす取組として、住み替えセミナーを実施しました。

- ・恵庭市移住・定住支援サイトへのアクセス数：52, 332件
- ・移住イベントへのブース出展
 - 東京、大阪、横浜、大宮のイベントへ出展 合計相談数：140件
- ・オンライン移住相談 参加数：3組
- ・オーダーメイドツアー 参加数：25組
- ・移住者交流会の実施 参加数：8組20名
- ・住み替えセミナーの開催 参加数：58名
- ・恵庭UIJターン新規就業支援事業補助金 交付件数：4件（世帯3件、単身1件）

●都市間交流の促進（P. 72）

1, 502千円

・姉妹都市和木町との交流事業

- 6月23日～6月25日 : 和木町との相互交流（花とくらし展）
（和木町議会議長、副議長含む4名来恵）
- 10月2日～11月30日 : 職員研修派遣交流（和木町へ職員1名を派遣）
- 10月28日～10月30日 : 和木町ふるさと祭り「わき愛あいフェスティバル」参加
（和木町へ3名派遣）
- 11月10日～11月11日 : 和木町町制施行50周年記念式典への参加
（市長、恵庭市議会議長含む6名出席）
- 3月25日～3月27日 : 和木町職員等来恵（職員等2名来恵）

・友好都市藤枝市との交流事業

- 10月19日～10月20日 : 藤枝市行政視察・職員交流（藤枝市へ職員1名を派遣）
- 10月29日 : ふじえだ産業祭への出展

・姉妹都市等交流促進事業補助金

第6回恵庭市長杯サッカー大会（来恵 1 チーム）

第50回藤枝JC杯争奪少年少女サッカー大会（訪問者 18名）

恵庭商工会議所4部合同道外視察（訪問者 19名）

恵庭市農商工等連携推進ネットワーク

ふじえだ産業祭への出展交流事業（訪問者 6名）

藤枝市スポーツ協会・恵庭市スポーツ協会交流事業（訪問者 4名）

基本目標Ⅳ 人が育ち文化育むまち

目標 1 4 地域で育む子育て環境

子どもの居場所づくりに向け、子どもの集う場所の整備や、民間施設を含めた保育環境の確保、ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進に努めました。

●子どもの居場所づくりの推進と民間活力の導入の検討

子育てについての相談・指導などの各種支援に努め、児童が健やかに育つ環境づくりのために、子育て支援センター事業や子どもひろば事業、学童クラブ事業等を実施し、地域における子育て支援機能の充実を図りました。また、すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、妊娠・出産から子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型支援と、妊娠の届け出後及び出生後の経済的支援として出産・子育て応援給付金の支給を行いました。

・学童クラブ事業 (P. 104)

248, 595千円

令和5年度は全20か所で学童クラブを運営しました。また、増加する学童クラブへの需要に対応するため、市内1か所の民間学童クラブへ運営費補助を継続実施しました。

・学童クラブ受入状況 (月平均)

区 分	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生	5 年 生	6 年 生	要加配児童	合 計
R5 年度	217	207	163	101	27	13	15	743
R4 年度	228	192	154	74	24	18	16	706
比 較	△11	15	9	27	3	△5	△1	37

・学童クラブ在籍状況 (年度末)

	児童数		児童数		児童数		児童数
恵庭	48	和光	47	若草	34	恵み野	38
恵庭第2	44	和光第2	71	若草第2	37	恵み野第2	22
恵庭第3	25	和光第3	34	若草第3	21	恵み野旭	28
柏	41	島松	45	若草第4	31	恵み野旭第2	19
柏第2	28	島松第2	45	松恵	24	恵み野旭第3	20

・子育て支援センター事業の充実 (相談件数・利用者数) (P. 102~104)

相 談 項 目	件数	年 齢 等	利用者数
しつけ (基本的生活習慣)	51	保護者	11,719
発達 (言語、情緒、身体)	61	0 歳	3,329
子どもの対人関係	19	1 歳	4,260
親子・家庭関係	43	2 歳	3,031
問合せ	223	3 歳以上	3,190
合 計	397	合 計	25,529

※相談件数・利用者数は、柏陽、恵み野、島松、黄金、柏、恵庭の各支援センターの合計

・子どもひろば利用状況（P. 105）

区 分		就学前児童	小学生	中学生	高校生	その他	合計
R5 年度	恵庭子どもひろば	761	5,360	390	17	789	7,317
	黄金子どもひろば	387	9,393	556	70	631	11,037
	島松子どもひろば	236	3,130	280	48	318	4,012
	恵み野子どもひろば	1,556	5,944	127	260	2,396	10,283
	若草っ子ひろば	－	1,556	－	－	－	1,556
	柏子どもひろば	340	2,618	492	38	462	3,950
	松恵子どもひろば	－	1,628	－	－	－	1,628
	総 計						39,783
R4 年度	恵庭子どもひろば	356	5,847	1,073	26	558	7,860
	黄金子どもひろば	385	8,293	385	18	573	9,654
	島松子どもひろば	110	1,887	214	3	125	2,339
	恵み野子どもひろば	1,266	3,763	414	191	1,704	7,338
	若草っ子ひろば	－	1,073	－	－	－	1,073
	柏子どもひろば	342	3,535	352	53	424	4,706
	松恵子どもひろば	－	1,791	－	－	－	1,791
	総 計						34,761
比較	恵庭子どもひろば	405	△487	△683	△9	231	△543
	黄金子どもひろば	2	1,100	171	52	58	1,383
	島松子どもひろば	126	1,243	66	45	193	1,673
	恵み野子どもひろば	290	2,181	△287	69	692	2,945
	若草っ子ひろば	－	483	－	－	－	483
	柏子どもひろば	△2	△917	140	△15	38	△756
	松恵子どもひろば	－	△163	－	－	－	△163
	総 計						5,022

ランドセル来館利用状況

	R5 年度		R4 年度		比較	
	登録者数	利用者数	登録者数	利用者数	登録者数	利用者数
恵庭子どもひろば	2	24	2	58	0	△34
黄金子どもひろば	0	0	4	179	△4	△179
島松子どもひろば	0	0	0	0	0	0
柏子どもひろば	0	0	3	173	△3	△173
合 計	2	24	9	410	△7	△386

・ファミリーサポートセンター会員数／援助活動件数（P. 106）

【基本の預かり】

- ・依頼会員 767人
- ・協力会員 131人
- ・両方会員 49人
- 合 計 947人

援 助 内 容	件数
保育所・幼稚園への送迎、預かり等	176
学童保育の送迎、預かり等	28
保護者等の外出、病気、急用時の場合の援助	237
保護者等の短時間・臨時就労等による預かり等	192
子どもの病気、習い事等の場合の援助	292
その他	19
合 計	944

【病児・病後児預かり】
・協力会員 28人

援 助 内 容	件数
病児・病後児の預かり	36
宿泊を伴う預かり	3
緊急度の高い預かり	1
送迎	0
(うち、医療機関の代理受診)	0
その他	0
合 計	40

・児童手当 (P. 98)

(単位：人・千円)

区分		第1子		第2子		第3子以降		合計	
		総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額	総人員	金額
R5 年度	3歳未満	4,932	73,980	4,216	63,240	1,955	29,325	11,103	166,545
	3歳以上	21,882	218,820	15,808	158,080	5,790	86,850	43,480	463,750
	中学生	9,746	97,460	5,017	50,170	493	4,930	15,256	152,560
	特例給付	853	4,265	681	3,405	193	965	1,727	8,635
	小計	37,413	394,525	25,722	274,895	8,431	122,070	71,566	791,490
R4 年度	3歳未満	5,375	80,625	4,211	63,165	1,865	27,975	11,451	171,765
	3歳以上	22,357	223,570	15,819	158,190	6,103	91,545	44,279	473,305
	中学生	9,906	99,060	5,207	52,070	487	4,870	15,600	156,000
	特例給付	842	4,210	785	3,925	256	1,280	1,883	9,415
	小計	38,480	407,465	26,022	277,350	8,711	125,670	73,213	810,485
比 較		△1,067	△12,940	△300	△2,455	△280	△3,600	△1,647	△18,995

※3歳未満・3歳以上小学校修了前(第3子)は月額15,000円

※3歳以上小学校修了前(第1・第2子)・中学生は月額10,000円

・児童扶養手当 (P. 98)

区 分	全部支給	一部支給	全額支給停止	合計(人)	金額(千円)
R5 年度	311	260	124	695	305,212
R4 年度	329	266	123	718	309,896
比 較	△18	△6	1	△23	△4,684

・出産・子育て応援給付金支給事業 (P. 108)

区 分	支給者数	
	出産応援 (妊婦)	子育て応援 (児童)
R5 年度	518	432
R4 年度	488	303
比 較	30	129

※妊婦、児童1人に各50,000円を支給

・遺児手当（P.99）

区 分	就学児(15,000 円/年)		未就学児(12,000 円/年)		合 計	
	総人員	金額（千円）	総人員	金額（千円）	総人員	金額（千円）
R5 年度	20	265	1	12	21	277
R4 年度	17	246	3	18	20	264
比 較	3	19	△2	△6	1	13

・施設入所面会旅費助成事業

区 分	申請世帯	金額（千円）
R5 年度	2	50
R4 年度	0	0
比 較	2	50

・入院助産措置状況

区 分	措置人員	金額（千円）
R5 年度	1	839
R4 年度	0	0
比 較	1	839

・子育て支援短期利用事業・夜間養護等事業

区 分	短期利用事業			夜間養護等事業		
	児童数	日数(日)	金額(千円)	児童数	日数(日)	金額(千円)
R5 年度	23	59	314	0	0	0
R4 年度	23	75	346	0	0	0
比 較	0	△16	△32	0	0	0

・子育て世帯訪問支援事業

区 分	世帯数	児童数	訪問回数
R5 年度	4	14	37

※R5 年度からの新規事業

・家庭児童相談受付件数

（実件数）

項目	養育相談		保健相談	障がい相談						非行相談	
	児童虐待	その他		肢体不自由	障がい 視聴覚	障がい等 言語発達	障がい 重症心身	知的障がい	発達障がい	ぐ犯行為等	触法行為等
R5 年度	175	67	7	0	0	1	1	104	2	1	1
R4 年度	161	79	6	0	0	2	0	80	15	4	0
比 較	14	△12	1	0	0	△1	1	24	△13	△3	1

項目	育成相談				その他の相談	合計
	性格行動	不登校	適性	しつけ 育児・		
R5 年度	28	24	6	5	49	471
R4 年度	16	21	0	5	33	422
比 較	12	3	6	0	16	49

・子ども相談事業の推進

家庭児童相談員 2名

・児童虐待の防止と体制の強化

恵庭市要保護児童ネットワーク協議会

代表者会議 1回 実務者会議 3回 個別ケース検討会議 18回 講演会 1回

・ひとり親家庭相談の実施

母子父子自立相談員相談指導件数

項目	生活一般								児童				
	住宅	医療・健康	家庭紛争	就労	結婚	養育費	借金	その他	養育	教育	非行	就職	その他
R5 年度	2	6	11	40	2	5	2	272	34	11	0	0	9
R4 年度	0	10	66	113	16	7	4	400	97	28	1	1	9
比 較	2	△4	△55	△73	△14	△2	△2	△128	△63	△17	△1	△1	0

項目	経済的支援・生活援助							その他						合計
	母子福祉資金	寡婦福祉資金	公的年金	児童扶養手当	生活保護	税	その他	売店設置	たばこ販売	母子家庭向 公営住宅	母子福祉施設 の利用	支援施設	母子生活	
R5 年度	134	17	2	277	5	1	55	0	0	0	0	0	0	885
R4 年度	172	26	6	305	14	9	132	0	0	0	0	0	0	1,416
比 較	△38	△9	△4	△28	△9	△8	△77	0	0	0	0	0	0	△531

・ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金事業（P. 99）

区 分	パソコン講座	ホームヘルパー	医療事務	介護技術	その他	合計
R5 年度	0	0	0	3	0	3
R4 年度	0	0	0	1	0	1
比 較	0	0	0	2	0	2

・ひとり親家庭高等職業訓練促進給付事業（P. 99）

区 分	理学療法士	作業療法士	保育士	准看護師	看護師	その他	合計	修了支援 給付金※
R5 年度	0	0	2	0	3	0	5	3
R4 年度	0	0	1	0	3	1	5	0
比 較	0	0	1	0	0	△1	0	3

※養成課程が修了後 1 回支給

・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業

区 分	利用者数	金額（千円）
R5 年度	0	0
R4 年度	0	0

・ひとり親家庭等日常生活支援事業（P. 99）

区 分	利用者数	利用回数	利用時間	金額（千円）
R5 年度	1	1	2	4
R4 年度	2	5	13	24
比 較	△1	△4	△11	△20

・恵庭市子どもの生活・学習支援事業実施状況（P. 99）

区 分		恵庭地区	柏地区	若草地区	恵み野地区	島松地区	合計
R5 年度	延利用者数(人)	378	339	493	267	355	1,832
	開設日数(日)	49	46	100	43	50	288
R4 年度	延利用者数(人)	254	425	535	368	145	1,727
	開設日数(日)	49	51	110	48	47	305
比 較	延利用者数(人)	124	△86	△42	△101	210	105
	開設日数(日)	0	△5	△10	△5	3	△17

●学童クラブ及び保育園、認定こども園における待機児童の解消

延長保育事業や休日保育事業、一時保育事業等を実施し、仕事と育児を両立させ、安心して働ける環境を整備するなど、保育サービスの向上に努めました。

・延長保育事業

保育時間 1 8 時 1 5 分～1 9 時 1 5 分

区 分	実人員	延人員	利用 日数
すみれ保育園	24	155	110
島松いちい保育園	63	1,027	255
恵み野幼稚園	46	776	228
ひまわり幼稚園	33	601	221
さくら	34	544	162
えほんの森	51	1,061	246
幼稚園舍えるむ	32	918	247
えにわスマイル保育園	24	457	122
かしわ幼稚園	27	336	190
あいおい子ども園	23	573	221
北海道文教大学附属幼稚園	29	193	86
第二かしわ幼稚園	9	67	49
しまつスマイル保育園	8	22	10
島松もみじ	6	62	41
ぴっころきつず	19	578	244
合 計	428	7,370	2,432

※短時間認定の時間外含む

・一時保育事業

対象児：1 歳～就学前児

定 員：8 名程度/日

保育時間：7 時 1 5 分～1 8 時 1 5 分

区 分	実人員	延人員	利用 日数
すみれ保育園	37	520	241
島松いちい保育園	20	219	151
あいおい子ども園	47	989	265
えほんの森	13	296	162
合 計	117	2,024	819

・ 保育所等入所児童数（2号・3号認定こども）

（令和6年3月31日現在）

区 分	年 齢 別 の 入 所 児 童 数							定員	入所率
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計		
すみれ保育園	7	13	13	14	12	16	75	90	83.3%
島松いちい保育園	16	20	20	14	19	15	104	90	115.6%
恵み野幼稚園	8	16	16	13	16	14	83	86	96.5%
ひまわり幼稚園	9	15	16	8	13	12	73	79	92.4%
さくら	12	16	15	10	13	13	79	75	105.3%
えほんの森	9	15	14	12	13	11	74	75	98.7%
幼稚舎えるむ	12	19	10	12	17	9	79	69	114.5%
えにわスマイル保育園	9	13	11	5	5	12	55	60	91.7%
かしわ幼稚園	6	15	13	15	7	16	72	86	83.7%
あいおい子ども園	11	16	13	18	13	17	88	90	97.8%
恵庭幼稚園	9	8	12	17	22	24	92	80	115.0%
クランク幼稚園	0	0	0	7	7	9	23	20	115.0%
島松幼稚園	0	0	0	2	5	6	13	10	130.0%
北海道文教大学附属幼稚園	7	17	14	14	16	16	84	90	93.3%
第二かしわ幼稚園	0	10	3	4	4	3	24	58	41.4%
恵み野第二幼稚園	0	9	7	4	4	1	25	51	49.0%
恵庭保育園	0	11	7	0	0	0	18	18	100.0%
しままつスマイル保育園	9	7	6	0	0	0	22	19	115.8%
島松もみじ保育園	5	7	7	0	0	0	19	19	100.0%
ぴっころきっず	2	2	2	0	0	0	6	7	85.7%
合 計	131	229	199	169	186	194	1,108	1,172	94.5%
うち、他市町村からの広域受入	1	2	1	0	1	2	7		
他市町村への広域入所	3	3	2	0	2	2	12		

・ 休日保育事業

定 員 ： 10名程度

開設時間 ： 8時～18時

区 分	実人員	延人員	利用日数
あいおい子ども園	9	302	67

・ 多子世帯保育料軽減支援事業(保育料一部無償化)

対象 3歳未満児（第2子以降）

区 分	実人数	延人数
R5年度	239	2,337
R4年度	209	1,984

●学童クラブ支援員及び保育士等の人材確保と質の向上

・保育士人材確保対策事業(P.107)

30,491千円

保育士の就労環境改善により、新規就労促進・離職防止を図ることで、保育受け入れ可能人数の確保を図りました。事業者が保育士用の宿舍を借上げるための費用の一部を支援する保育士宿舍借上げ支援事業補助金、清掃や給食の配膳、児童の園外活動や特に見守り等が必要な時間帯等の安全管理等、保育に係る周辺業務を行う保育士資格を有しない職員の配置を支援する保育体制強化事業補助金の運用を継続しました。

・保育士就労支援事業補助金

交付対象事業者 9法人16施設

交付対象保育士 40名

・保育士宿舍借上げ支援事業補助金

交付対象事業者 5法人10施設

交付対象保育士 22名

・保育体制強化事業補助金

交付対象事業者 10法人14施設

保育支援者 18名

キッズガード 14名

スポット支援員 17名

●ヒューマン・コミュニケーション力を育むための事業の促進

児童生徒等の思いやりの心やコミュニケーション力を育み、他者と良好な関係を構築する力を高めることを目的として、自分自身の生き方や人間関係について気づき学ぶ体験学習型の授業や講座を実施しました。

・児童生徒 ヒューマン・コミュニケーション授業

実施回数：若草小学校 延2回、柏陽中学校 延4回、恵明中学校 延1回

対 象：若草小学校5年生、6年生 191名、柏陽中学校1年生、2年生 194名
恵明中学校2年生 220名

・教職員等 ヒューマン・コミュニケーション講座

実施回数：1回

対 象：市内小中学校教職員等 49名

目標 15 心豊かな思いやりをもった子どもの育成

心豊かな子どもの育成のため、地域住民や市民団体等を主体として、生活体験や自然体験、社会体験の機会の充実や、地域活動機会の充実、読書習慣の形成等による青少年の育成を図るとともに、指導者の育成や指導者間の連携充実を図りました。

●体験型事業の推進

市民一人ひとりが社会の変化に柔軟に対応し、自分にとって生きがいやうまいおいのある学習ができるよう、幼児期から高齢期まで人生の各期に応じた学習機会の提供と充実に努めました。

・宿泊体験事業又は日帰り体験事業

・日帰り体験事業

恵み野地区 参加人数：22人 お仕事体験
恵庭地区 参加人数：18人 通学合宿

・恵庭子ども塾（P.174）

事業分類	延事業回数	延実施日数	延参加人数	内 容
ものづくり・実験教室	1	1	52人	おもしろ理科実験教室
体験学習	4	4	122人	食の体験ランド 親子で学ぶ！子ども航空教室 お茶を学ぶワークショップ Enjoy English
合 計	5	5	174人	

・青少年宿泊研修施設利用状況（P.173）

利 用 者：市内外の青少年団体（小学生、中学生および高校生の団体）
利用人数：621人（前年度研修施設利用人数 108人）

・青少年育成事業

少年の主張中学校大会	参加校5校（各校1人）
えにわっ子ジュニアセミナー	小学5年生～中学1年生 前期21人 後期27人
青 少 年 表 彰	青少年団体活動者賞（団体）2団体
青少年育成事業補助金	2023スウェーデン・ロシアを迎える会 北海道歴史舞台 絆花～中山久蔵物語～ 夢道教室2023

・コミュニティ・スクールの推進

市内全小中学校に設置されている学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の理解度を深め、地域住民・保護者・学校が一体となって子供たちの成長にかかわっていく体制づくりに努めました。

「恵庭市の学校・地域をつなぐ～コミスクかふえ！」 開催回数：4回 延参加人数：173人

・恵庭市はたちのつどい（P.173）

開催日：令和6年1月7日

参加者数：522人（男性259人、女性256人、その他7人）

●読書活動による子どもの育成

ブックスタートで本と出会った乳児が成長するにしたい、幼稚園や小中学校などの読書活動を通して豊かな心や自ら学ぶ力を育てながら読書習慣を形成するため、総合的・体系的に読書環境を整備し、児童生徒の読書意欲の高まりや自主的な調べる力の習得などの推進を図りました。

・ブックスタート事業（P.179）

ブックスタートパックを9～10か月児健診を受診する親子に配布

・対象乳児：403人、配布パック数：403個

・ブックスタートプラス事業（P.179）

絵本とガイドブックを1歳6か月児健診を受診する親子に配布

・対象乳児：452人、配布パック数：452個

・認定子ども園及び保育所図書環境整備支援（P.179）

・認定子ども園等 18施設 439千円

・読み聞かせ活動の推進（P.179）

（おはなし広場開催状況）

（単位：回、人）

区分	開催回数	参加者数	1回平均参加者数
本館	62	400	6.5
恵庭	21	117	5.6
島松	24	106	4.4
計	107	623	5.8

・家読推進及び講演会事業

・家読講演会「楽しい絵本の世界」

令和6年2月17日 恵庭市立図書館視聴覚室 参加者数：38名

・小中学生調べる学習コンクール

・参加児童生徒 299人（小学校146人、中学校153人）

・作品点数 293点（小学校146点、中学校147点）

・小・中学校学校司書の配置

・市内13小・中学校に各1名配置（和光小 2名）

・小・中学校の図書の充実（P.164・167）

1) 小学校学校図書館の現況

（単位：冊）

	R5年度	R4年度	増減
貸出冊数	177,667	209,421	△31,754
一人当貸出数	49.2	56.8	△7.6
蔵書冊数	83,554	83,354	200
一人当蔵書数	23.2	22.6	0.6

2) 中学校学校図書館の現況

（単位：冊）

	R5年度	R4年度	増減
貸出冊数	38,012	36,179	1,833
一人当貸出数	19.9	18.4	1.5
蔵書冊数	61,673	61,222	451
一人当蔵書数	32.3	31.2	1.1

目標 16 子どもの自立成長を促す学校教育

「自ら課題を見出し解決する力」「社会、自然等とともに生きる力」「生涯にわたって学び続ける力」を身に付け、自立心のある子どもたちの育成をめざすため、児童生徒一人ひとりの学習を活性化する協働学習の環境整備を図り、一人ひとりのニーズに沿った環境整備に努めました。

●ふるさと教育の推進

・特色ある学校づくり (P. 160)

(教育振興推進交付金事業内容)

(単位：千円)

学 校 名	事 業 内 訳	事業費 (補助額)
恵庭小学校	サケ飼育学習、総合学習、全校集会活動充実、児童登下校時安全対策、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	447 (297)
島松小学校	サケ飼育学習、学校課題取組推進、特別活動推進、総合学習、花いっぱい運動・栽培活動推進、学校支援地域本部事業	297 (297)
柏小学校	サケ飼育学習、いじめ・不登校対策研究等、教材園での栽培、校地内での体験活動、読書環境整備、児童の交通安全意識啓発、総合学習、ふれあい広場、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	300 (300)
和光小学校	サケ飼育学習、学年学級活動推進、わ・和・輪スクール、総合学習、水泳学習の充実、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	355 (355)
松恵小学校	学校農園活動推進、体力づくり推進、基礎学力定着推進、国際理解教育推進、総合学習、サケ飼育学習、集団づくりのための取組、情報図書館まつり、漢字力向上の取組、学校支援地域本部事業、学校花壇活動の推進	234 (234)
若草小学校	若草ふれあいスクール、総合学習の充実、児童会活動の充実、サケ飼育学習、教育環境整備、学校花壇の整備、学校支援地域本部事業	326 (326)
恵み野小学校	サケ飼育学習、校舎内外の教育環境整備、総合学習、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	256 (256)
恵み野旭小学校	児童会活動、サケ飼育学習、基礎学力向上、総合学習、情報教育、文化鑑賞、環境整備、学校支援地域本部事業	302 (302)
恵庭中学校	吹奏楽部演奏活動・楽器購入、楽器整備、総合学習、生徒会活動充実、ゲストティーチャー、PTA・町内会と連携した花づくり、学校支援地域本部事業	595 (595)
恵北中学校	学校運営推進事業、生徒会活動推進、総合学習、特別支援教育・不登校対策支援事業、花いっぱい運動、学校支援地域本部事業	295 (295)
恵明中学校	総合学習、サケ稚魚飼育観察、生徒会活動充実、地域住民・保護者・生徒交流、吹奏楽部の充実、楽器整備、花壇整備の活動、学校支援地域本部事業	666 (666)
柏陽中学校	サケ稚魚飼育観察、自主的な生徒の活動支援、総合学習、学校花壇及びフラワーロード整備活動、学校支援地域本部事業	349 (349)
恵み野中学校	サケ稚魚飼育観察、生徒会活動、情報教育推進、中庭整備、総合学習、学校緑化推進・環境美化奉仕、学校支援地域本部事業	347 (347)
合 計		4,769 (4,619)

●教育環境の整備促進

・認定こども園（１号認定こども）

（令和６年３月１日現在）

区 分	年齢別の入所児童数				
	満３歳	３歳	４歳	５歳	合 計
恵庭幼稚園	20 人	33 人	33 人	34 人	120 人
島松幼稚園	0 人	26 人	26 人	26 人	78 人
クラーク幼稚園	43 人	57 人	57 人	63 人	220 人
第二かしわ幼稚園	27 人	43 人	49 人	56 人	175 人
恵み野第二幼稚園	10 人	15 人	26 人	32 人	83 人
恵み野幼稚園	11 人	23 人	25 人	28 人	87 人
ひまわり幼稚園	16 人	36 人	29 人	47 人	128 人
さくら	3 人	8 人	2 人	6 人	19 人
えほんの森	1 人	6 人	5 人	9 人	21 人
幼稚舎えるむ	5 人	5 人	2 人	4 人	16 人
えにわスマイル保育園	3 人	6 人	4 人	7 人	20 人
かしわ幼稚園	14 人	31 人	27 人	33 人	105 人
あいおい子ども園	5 人	4 人	7 人	5 人	21 人
北海道文教大学附属幼稚園	3 人	6 人	4 人	4 人	17 人
合 計	161 人	299 人	296 人	354 人	1,110 人

・特別支援教育の推進（P.158）

障がいのある児童生徒に対し、個々の教育的ニーズに応じたきめ細やかな教育を推進するため、個別支援体制の強化をはじめとした総合的な支援体制の充実を図りました。

1)学校の支援体制

- ・校内支援委員会 ～ 全小中学校１３校に設置
- ・特別支援教育コーディネーター ～ １３校に２１名を指名

2)巡回相談体制

- ・特別支援教育推進委員会 専門委員６名

3)特別支援教育支援員配置状況

（単位：校、人）

区 分	配置校	支援員数	勤務内容	対 象
小学校	8	24	週 29 時間勤務	特別な支援を必要としている児童生徒
中学校	5	11		

4)特別支援学級・特別支援学校就学の状況

区 分	特別支援学校	特別支援学級						
		知的	情緒	肢体	病弱	難聴	言語	計
新入学児童	1	10	17	2	3	1	0	33
在学児童生徒	0	15	24	0	2	0	0	41
計	1	25	41	2	5	1	0	74

5)特別支援学級在籍・通級指導教室の状況（令和5年5月1日現在）

区 分	特別支援学級							言語 通級 教室	発達 通級 教室
	知的	情緒	肢体	病弱	難聴	言語	計		
小学校在学	56	83	4	2	0	1	146	35	106
中学校在学	36	33	2	1	0	0	72	-	-
計	92	116	6	3	0	1	218	35	106

・児童生徒の相談体制の充実（P. 158）

青少年指導員：16名

全小中学校児童生徒を対象としたいじめや不登校等の問題への対応と未然防止のため、メンタルフレンド事業の普及やスクールソーシャルワーカーの配置をはじめ相談体制の充実を図りました。

1)非行少年の状況

（単位：人）

区 分	R5 年度			R4 年度			比 較		
	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計	不良 行為	触法 行為	計
小 学 生	2	4	6	0	0	0	2	4	6
中 学 生	23	2	25	35	0	35	△12	2	△10
高 校 生	9	2	11	0	0	0	9	2	11
有 職 無 職 青 年	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 学 生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	34	8	42	35	0	35	△1	8	7

2)電話相談件数

相談件数 7件（前年度比4件増）

3)スクールカウンセラー活用事業

スクールカウンセラーの配置（2名）

（単位：校、回）

	学校数	派遣回数	
小学校	8	198	市スクールカウンセラー派遣 2名 1, 832時間 （道カウンセラーと兼任） 道スクールカウンセラー派遣 2名 359時間
中学校	5	101	
市民会館		22	

相談内容別相談件数

（単位：件）

相談内容	不登校	いじめ	暴力行為	児童虐待	友人関係	貧困の問題	非行・不良 行為	家庭環境
相談件数	900(43)	21(0)	12(0)	8(0)	134(5)	4(0)	12(2)	273(3)

相談内容	教職員と の関係	心身の健康・保健	学業・進路	発達障害等	その他	合計
相談件数	19(8)	214(3)	108(4)	188(2)	571(0)	2,464(70)

その他：スクールカウンセラーの授業見学・研修会講師・ケース会議・家庭訪問等

相談者別相談件数

（単位：件）

相談者	児童生徒	保護者	教職員	その他	合 計
相談件数	508(16)	513(40)	1,152(12)	291(2)	2,464(70)

※（ ）内は市民会館相談件数

4)不登校対策事業（教育支援センター）

- ・指導員の配置 9名（令和6年3月31日時点）
- ・通室状況 小学生17人・中学生50人通室
- ・学校復帰 完全復帰6人、不定期登校・別室登校・部分復帰34人

5)メンタルフレンド事業

ボランティア登録者数（北海道文教大学の学生）26名

派遣実績：小学校・中学校合計 4件 …メンタルフレンド研修2回実施

6)なかよしさわやかDAY全市交流会

令和5年7月20日に市民会館にて、市内の小中学校の代表者が一堂に会し、みんなでいじめについて考える「なかよしさわやかDAY」全市交流会を開催しました。

交流会では、テーマに基づきグループ協議・発表を行いました。中学生が司会者となり、小学生をリードしながら、様々な角度から「いじめ」について考え、活発な意見交換が行われました。

・学力・体力向上推進事業（P.160）

10,660千円

- ・学力体力向上推進会議の設置
委員：9名 開催回数：3回
- ・学力向上アドバイザーの設置 会計年度任用職員1名
- ・標準学力検査（NRT）の実施（小学校2～6年生、中学校全学年）
- ・英検I・B・A・E・S・G（英語力の測定）の実施
英検I・B・A 中学校全学年
英検E・S・G 小学校6年生
- ・地域人材の活用 小学校外国語授業 個人3名、1団体
体育授業等実技支援 1団体 小学校8校 67回
中学校1校 3回

・部活動指導員配置事業（P.156）

部活動指導員を導入することにより、教員の部活動に関わる時間を軽減し、教材研究や生徒との面談等の時間を確保することなど、教員の「働き方改革」を推進するとともに、生徒が競技に理解のある指導員から指導を受けることで、技術の向上・けがの未然防止・個々に応じた適切な練習法の導入など、部活動の質的な向上を図りました。

配置状況：恵庭中学校 女子卓球部1名（年210時間）

恵北中学校 女子バスケットボール部1名（年210時間）

恵明中学校 女子バドミントン部1名（年210時間）

恵み野中学校 男子バレーボール部1名（年210時間）

・小学校、中学校環境整備事業（P.166～167・169～170）

- ・柏小学校特別支援教室改修事業 2,607千円
特別支援教室の整備に伴う改修工事
- ・若草小学校講堂防音機能復旧事業 38,416千円
老朽化したボイラー設備等の更新工事
- ・若草小学校校舎防火設備改修事業 19,353千円
老朽化した防火設備の改修工事
- ・恵み野小学校改修事業 2,442千円
老朽化した給食受入棟の改修工事

- ・ 小学校鉄棒更新事業 6, 0 8 3 千円
老朽化した鉄棒の更新工事（和光小学校・若草小学校）
- ・ 和光小学校講堂トイレ改修事業 2 4, 0 5 7 千円
老朽化した体育館トイレの改修工事
- ・ 恵庭小学校設備等改修事業 2 7, 5 9 9 千円
老朽化した外部給排水管の改修工事、物置の撤去・新設工事
- ・ 恵庭小学校エレベーター新設事業 4 2 9 千円
エレベーター新設に係る実施設計の変更
- ・ 和光小学校講堂外壁・屋上改修事業 4 9 千円
体育館の外壁・屋根改修工事に係るアスベスト調査
- ・ 小学校保健室等冷房設備設置事業 1 7, 9 7 4 千円
保健室及びその他 1 教室に対する冷房設備の設置工事（各小学校）
- ・ 島松小学校コンピュータ室改修事業 8, 3 0 5 千円
学童クラブの学校内への移設に伴う改修工事
- ・ 恵明中学校講堂防音機能復旧事業 3, 3 2 2 千円
ボイラー設備等の更新に係る実施設計
- ・ 恵明中学校校舎防火設備改修事業 3, 2 8 5 千円
老朽化した防火設備の改修工事
- ・ 恵明中学校校舎・講堂トイレ改修事業 7, 0 3 1 千円
校舎及び体育館のトイレ改修工事に係る実施設計
- ・ 恵明中学校給食用昇降機更新事業 4, 2 0 1 千円
老朽化した給食用昇降機の更新工事
- ・ 柏陽中学校環境整備事業 5, 8 1 9 千円
屋外物置の撤去・新設工事
- ・ 恵み野中学校講堂屋上防水改修事業 4 4, 7 4 4 千円
屋上防水改修工事
- ・ 中学校保険室等冷房設備設置事業 1 2, 0 0 0 千円
保健室及びその他 1 教室に対する冷房設備の設置工事（各中学校）
- ・ 小学校指導者用デジタル教科書整備事業（P. 164） 1 7, 6 1 8 千円
市内小学校 8 校の 1 ～ 6 年生分の小学校指導者用デジタル教科書を整備しました。
- ・ G I G A 運営支援センター事業（P. 157） 7, 0 4 0 千円
ネットワークアセスメント、ネットワーク設定変更、教師・事務職員・支援人材 I C T 研修、学びの D X に向けたコンサルティング等を実施しました。
- ・ 高等学校等入学準備金支給事業（P. 157） 3, 1 2 0 千円
経済的な理由から高校等への修学に困難を有する生徒に対し、入学準備金を支給しました。
支給額：3 万円
支給者数：1 0 4 人（前年度 1 0 3 人）
- ・ 学校における食農教育の推進（P. 162）
栄養教諭による学校給食を活用した食育の推進を図ったほか、毎月家庭への「給食だより」「しょくいく」配布、給食協会ホームページへの給食献立等の掲載により、市民への情報発信と食育の啓蒙を実施しました。

1) 小学校給食

・センター稼働日数 199日、実施学校 市内全校（8校）

<実施状況>

(単位：回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	食 数	746,167
実施回数	183～ 189	188～ 195	188～ 195	188～ 194	188～ 192	184～ 190		

2) 中学校給食

・センター稼働日数 196日、実施学校 市内全校（5校）

<実施状況>

(単位：回、食)

学年	1年生	2年生	3年生	食 数	376,870
実施回数	191～ 195	188～ 192	176～ 185		

3) その他

・給食だより・しょくいく発行：毎月発行4月～3月（12か月）

・協会ホームページへの掲載：毎月の給食献立及び食育情報

・市ホームページへの掲載：主要な食材の産地等情報

目標 17 手を取り合い創造性を育む文化芸術

世代を超え、誰もが文化芸術活動に気軽に参加できるようなコミュニティづくりを図り、活動がつながり、支えあう仕組みづくりと全市民が一体となった文化芸術の振興を行うため、学校・社会教育施設と文化芸術活動団体等との連携の強化、文化芸術の担い手やボランティアの育成に努めました。

●公共施設の活用と市民の活力を生かした文化芸術活動の推進

身近な施設を活用した地域コミュニティ活動や青少年の育成のための体験や学習、遊びの機会拡充など、市民の幅広い学習活動が展開できる環境整備に努めました。

- ・ 恵み野会館防音機能復旧事業 (P. 178) 4 8, 0 4 3 千円
老朽化したボイラー設備等の更新工事
- ・ 有明会館防音機能復旧事業 (P. 178) 3, 0 4 7 千円
ボイラー設備等の更新工事に係る実施設計
- ・ 市民会館耐震化等改修事業 (P. 178) 2 0, 5 4 3 千円
非構造部材等の耐震改修工事に係る実施設計
- ・ 地区会館等 L E D 化事業 (P. 178) 3 4, 6 0 2 千円
地区会館の L E D 化改修工事（柏陽会館を除く）

・ 公民館活動等の充実 (P. 178)

(単位：講座、人)

講座等事業名	講座数	受講者数
市民講座	12	337
くらしに役立つ健康講座	2	32
外国語講座	3	29
日曜趣味講座	2	47
パソコン教室	32	32

(単位：講座、人)

講座等事業名	講座数	受講者数
親子ふれあい教室	3	46
みんなで楽しむピアノコンサート	2	246
公民館サークル	31(団体)	303
文化交流講座	1	24
スマホの使い方講座	2	27

- ・ 島松公民館まつり 舞台 7 5 4 人、展示 4 0 8 人

・ 図書資料等の充実 (P. 179)

1) 蔵書冊数の現況

(単位：冊)

区分	一般書	児童書	小計	雑誌	合計
本館	153, 406	39, 612	193, 018	8, 858	201, 876
恵庭	27, 706	15, 063	42, 769	790	43, 559
島松	23, 193	9, 688	32, 881	464	33, 345
計	204, 305	64, 363	268, 668	10, 112	278, 780

2)貸出状況

(単位：冊)

区分	利用者数	一般書	児童書※	雑誌	計	開館日数	一日平均
本館	104,550	194,834	122,613	15,732	333,179	297	1,121.8
恵庭	34,334	66,877	49,195	4,415	120,487	360	334.7
恵庭ロッカー	3,871	4,990	1,675	303	6,968	360	19.4
島松	9,768	25,842	17,841	2,349	46,032	300	153.4
黄金	1,303	1,395	430	56	1,881	336	5.6
かしわ	686	933	121	2	1,056	337	3.1
北高	3	3	0	0	3	-	-
南高	54	84	0	0	84	-	-
計	154,569	294,958	191,875	22,857	509,690	-	-

※絵本、紙芝居は児童書に含む

3)団体貸出状況

区分	登録団体数	利用団体数	貸出冊数
本館	306	49	10,597
恵庭		9	528
島松		10	957
計		68	12,082

4)レファレンス(資料相談)状況

区分	件数
本館	5,086
恵庭	2,484
島松	3,008
計	10,578

5)予約リクエストサービスの状況

(単位：冊)

区分	所蔵資料の 受付件数	未 所 蔵								計
		購入	道立	札幌	道内他館	道外	国立国会	大学図書館	提供不可	
本館	3,740	244	87	23	231	7	3	3	146	744
恵庭	1,463	151	30	10	95	0	0	0	78	364
島松	1,959	114	20	0	26	0	0	0	24	184
計	7,162	509	137	33	352	7	3	3	248	1,292

6)インターネット予約サービス

・受付件数：33,767件

・市内配本サービスの充実

配本車による図書館と学校間の全域利用状況

- ・学校への貸出冊数 8,913冊
- ・学校間の貸出冊数 2,413冊

・長寿大学の推進

高齢社会にふさわしい学習機会を提供し、生きがいを見つけ社会活動に参加し、健康で楽しい生活を送られるよう長寿大学を実施しました。

- ・授業回数 20回
- ・学生在籍数(最終) 102人

・えにわ学講座の推進

恵庭市を様々なジャンルから総合的に学び、ふるさとの魅力を発見し、豊かな文化の継承と住みよいまちづくりを進める学び場としてえにわ学講座を開催しました。

開催日数：2回 参加者数：52人

・リカレント公開講座の推進

大学で開催される市民向け講座を受講する高齢者に対して長寿大学の単位を認定するなど、市民の生涯学習意欲の向上を図りました。

リカレント公開講座大学名	講座数	受講者延人数
北海道文教大学公開講座（長寿大学指定分）	29	58

・家庭教育支援事業

子どもを持つ保護者が安心感と自信を持って家庭教育支援を行い、子どもと一緒に成長するための学びを地域全体で支援しました。

事業名	延事業回数	延参加人数	内 容
学びカフェ	12	81	緩やかな学びの場を提供
えにわままっぷ	1	60	親子を対象に子育てに役立つ体験を提供

・女性教育振興事業

・女性団体活動者研修会

「暑い夏を爽やかに～アロマの香りとハーブで彩る簡単手ごねせっけん気分もリフレッシュ～」 参加者数：26人

・女性人材育成セミナー

「日常のイライラをコントロールして心地よい生活を～女性のためのアンガーマネジメント～」 参加者数：22人

・生涯学習施設かしわのもり（P.172）

- ・開館日数 337日 利用人員 35,819人
- ・利用内容 スポーツ練習場 46.8% 子どもひろば 14.5%
子育て支援 10.8% その他 27.9%

・夢創館の活用（P.172）

夢創館の活性化を図るため、自主文化事業をはじめ各文化団体と市が連携し事業を実施しました。

開館日数	360日	利用団体数	230団体	利用人数	9,155人	利用日数	205日
指定管理者 主催事業	手作り雑貨マーケット in 夢創館					参加者 431人	
	手作り雑貨マーケット in 夢創館					参加者 318人	
	第2回フエンテコンサート					参加者 61人	
連携等事業	百歳体操（25回）					参加者 520人	

・史跡カリンバ遺跡の管理・整備（P.175）

2,344千円

史跡カリンバ遺跡整備検討委員会を3回開催し、史跡整備基本計画の改訂版を策定しました。また、土中に埋蔵されている漆製品等の保護等に役立てるため、引き続き水文環境調査を行いました。史跡の保護、整備の啓発を目的に花植えや草刈りなどの環境整備、講演会・講座、カリンバまつり、体験学習や特別展をボランティア団体等と共同で開催しました。

・市内遺跡の発掘調査等（P. 176～177）

29,540千円

・発掘調査

遺跡名	発掘等原因	面積	時代	出土遺物
ユカンボシE 1 遺跡	個人住宅	270 m ²	縄文時代	遺構 309 基、遺物 128,387 点
島松仲町遺跡	個人住宅	86 m ²	縄文時代	遺構 3 基、遺物 586 点
柏木川 9 遺跡	民間開発	3,039 m ²	縄文・擦文時代	遺構 157 基、遺物 15,158 点

・試掘・詳細分布調査 5 件（ユカンボシE 1 遺跡等）

・金属製品保存処理 鉄斧等計 13 点

・郷土資料館の運営・事業（P. 174～175）

・入館者数 6,349 人（前年度比－569 人）

（学習会等開催状況）

（単位：人、回）

区 分	R5 年度	R4 年度	比 較
学習会参加者数（回数）	349（25）	428（20）	△79（5）

・アイヌ政策推進交付金事業（P. 176）

2,594千円

・アイヌ文化マスター育成事業 参加者：6 人

市内在住の中高生 6 名を公募し、アイヌ文化等への理解を深めるため、アイヌ文化やアイヌ語の学習、旭川市等での 1 泊 2 日の研修やウポポイでのアイヌ料理調理体験プログラムなど全 8 回の講座や見学、体験等を行いました。

・アイヌ文化学習見学会事業 参加者：35 人

アイヌ文化やアイヌと和人との関りを深く学ぶため、旭川市と鷹栖町のアイヌ文化関連施設を見学しました。現地の学芸員や文化庁調査官に解説をしていただき、アイヌ文化やアイヌと和人との関わりを学びました。

●生涯を通じてだれもが文化芸術活動を行える環境づくり

・芸術鑑賞機会の充実

文化協会と連携し、市民の舞台・作品等の発表機会を提供するため「えにわ市民文化祭」を実施しました。

・第 68 回えにわ市民文化祭

展 示		舞 台		合 計		入 場 者 数	
団体数	出品人数	団体数	出演人数	団体数	人数	展示	舞台
40	424	47	518	87	942	1,528	1,563

出品・出演・入場者合計 4,033 人

・えにアートギャラリー 展示場所：はなふる 展示団体数：2 団体

・文化団体の育成支援（P. 171）

郷土芸能団体へ補助金を交付し、郷土芸能の保存と技能継承、更なる普及発展を図り郷土愛の育成と活力あるまちづくりに努めました。また、文化協会事業に対し補助金を交付したほか、文化活動奨励補助金により市民の文化活動を奨励しました。

・恵庭市文化協会補助金 550 千円

・郷土芸能団体への補助金（2 団体） 440 千円

・文化活動奨励補助金（3 団体） 500 千円

・文化事業派遣補助金（1 団体） 10 千円

・えにわ芸術文化宅配事業（P. 171）

・登録作品数 ～ 絵画 40 点、書 26 点、写真 53 点、アート書道 13 点、パッチワーク 22 点

・展示箇所 ～ 44 箇所（工場、金融機関、飲食店、事業所、幼稚園等）

・海外都市交流の促進（P. 67）

恵庭市国際化の指針及び恵庭市国際化推進アクションプランに基づき、多様な交流を通じた世界に開かれた地域づくりと市民と地域の外国人にとって住みよいまちづくりに取り組みました。

- ・地域日本語教室 日本語ひろば「えにわ」の開催

日本語ひろば「えにわ」 24回開催、受講者延153人、学習支援ボランティア延279人

- ・日本語ボランティア養成講座 2回開催

- ・多文化共生のまちづくり連絡協議会の開催 2回

外国人と接点のある関係者（町内会、教育機関、企業、行政等）が一堂に会し、情報共有や地域日本語教室の実施状況の報告、他自治体における在住外国人とのトラブル防止に関する取り組み事例及び恵庭市における今後の方向性についての意見交換を行いました。

- ・多文化共生フェスタの開催

地域住民と在住外国人の交流、多文化共生への理解促進のため、講師による多文化共生に関する講演、やさしい日本語による外国人との交流、展示などを行いました。

参加者約60人、外国人によるスピーチ5人

基本目標Ⅴ 地域資源・都市基盤を活かすまち

目標１８ 地域の特性を活かしたコンパクトなまちづくり

恵庭・島松・恵み野駅を地域の中心とし、地域の特徴を生かしたコンパクトな市街地整備を進めるとともに、自立した都市として商業・業務・工業・文化・学ぶ・にぎわいなどの都市機能の充実をめざした計画的なまちづくりを進め、だれもが安心安全に暮らすことができる利便性の高い都市機能の集積と都市基盤の整備を進めました。

●駅周辺のまちづくり - 地域の特色を活かした「エリアマネジメント」の推進

駅周辺への都市機能の集積やバリアフリー化を目指すとともに、安心と賑わいのあるまちづくりを進めました。

・島松駅周辺再整備事業（P.144）

23, 103千円

島松駅周辺地区都市再生整備計画に基づき、島松駅東口駅前広場及び島松駅沿線の再整備を進めており、令和5年度については島松駅沿線の改修工事を実施しました。

・バリアフリー特定事業（P.144）

バリアフリー特定事業計画に基づき、島松地区生活関連道路のバリアフリー化を進めました。

・実施路線

島松駅沿線 L=86.0m（島松駅周辺再整備事業の内 21, 912千円）

目標 19 水と緑豊かな生活空間づくり

恵庭の恵まれた自然環境、水資源、景観を活かした生活環境を維持していくため、自然景観の保全と農村景観の維持に努めました。

また、基地との共存をめざし、市内3駐屯地の体制維持、強化を引き続き要請し、併せて防衛施設の設置・運用により生じる障害軽減や緩和を図る防災・防音・民生安定施策を推進し、周辺地域の生活環境向上に努めました。

●水・緑など恵庭の魅力の維持

・小学生ふるさと景観絵画コンクール (P. 159)

市民が景観に対して意識や関心を持ち、主体的な景観作りを定着させるため市内小学生を対象に「ふるさと景観絵画コンクール」を実施しました。

- ・表彰作品展示期間 令和5年10月6日～10月20日
- ・市長賞1名、教育長賞1名、審査員特別賞1名、優秀賞7名、佳作10名

・水と緑のまちづくり推進事業 (P. 136・147)

市民植樹・記念樹の贈呈・花苗植栽等による環境美化事業を行い、水と緑のまちづくり推進について、市民と協働し取り組みました。

- ・記念樹贈呈事業 新築・誕生・結婚記念 イチイ7本、ブルーベリー175本、ハスカップ48本、ヤマボウシ32本
- ・市民植樹公園・緑地帯 アジサイ50本、エゾヤマザクラ3本を植樹
- ・花壇植栽事業 グリーンベルト花壇・黄金フラワーロード・3駅ロータリー
- ・緑の少年団支援事業 松恵小学校全児童が学校農園、花壇作り、クリーン活動を実施し、5、6年生は緑の募金活動を行いました。

・街路樹剪定・適正管理事業 (P. 145)

32, 624千円

幹線道路沿線の街路樹について、計画的な剪定と間引き伐採を進めることで快適な道路環境の維持に努めました。

・植樹樹・植樹帯管理助成事業 (P. 141)

1, 809千円

地域の環境改善や道路沿線の美化の促進のため、植樹樹・植樹帯の美化活動を実施した団体へ助成を行い、緑豊かでうるおいのある街づくりを推進しました。

- ・実施団体：39団体

・街区公園美化活動助成金 (P. 145)

1, 363千円

- ・実施町内会 12町内会 25公園

・公園施設長寿命化改修事業 (P. 144~145)

139, 876千円

- ・公園遊具改修 10公園13施設
- ・外柵更新 2公園
- ・恵庭ふるさと公園管理棟改修
- ・公園施設長寿命化計画策定
- ・公園のあり方等検討

・恵み野中央公園改修事業 (P. 146)

6, 435千円

- ・測量調査 (A=11.1ha)
- ・改修基本計画策定

・バリアフリー特定施設（公園）整備事業（P. 146） 23, 122千円

- ・かつら公園トイレ改修設計
- ・かつら公園、恵み野南緑地測量調査
- ・カリンバ自然公園案内標識等整備
- ・恵み野南緑地園路整備

・公園照明灯更新事業（P. 146） 27, 475千円

- ・公園照明灯柱更新（公園灯灯柱 5公園39基、引込柱 3公園3基）

・街区公園再整備事業（P. 146） 107, 534千円

- ・街区公園改修設計 2公園（あおぞら公園、わんぱく公園）
- ・街区公園再整備 3公園（花の丘公園、ユカンボシ公園、すみれ公園）

・生活環境改善要望対策事業（公園施設）（P. 146） 27, 498千円

市民から寄せられた公園施設や街路樹に関する意見・要望に対して、緊急性や利用者数などを勘案し、計画的に課題解決を進めました。

・河川愛護会補助金（P. 143） 38千円

恵庭河川愛護会に補助金を交付し、河川清掃などの河川愛護活動を支援しました。

・自転車の利用促進と恵庭市の魅力発信（P. 63） 1, 983千円

自転車に関する関心を高め、自転車の利用促進と、恵庭を知って、見て、感じてもらい、「農業」「観光」「商業」等、関連産業との連携、地域観光・経済の活性化を図ることを目的とした自転車イベントを、市内チェックポイントを自由に走行する方式で開催しました。また、令和5年度は長沼町と千歳市の道の駅に2日間限定の特設チェックポイントを設置し、恵庭市近郊の景観等を楽しめるようにしました。その他、自転車活用推進計画の部分改訂を行いました。

- ・サイクルフェスタ恵庭2023：令和5年9月1日～9月24日
- 参加申込数：227人

●市民ニーズに対応した適正な墓所の確保

・恵浄殿改修事業（P. 118） 33, 308千円

恵浄殿改修計画に基づく主な改修

- ・火葬炉補修工事 セラミック張替え（1号炉）、主燃焼炉バーナー取替（4台）
- ・非常用発電設備改修

●防衛施設周辺整備等事業の推進

防衛施設設置により生じる障害を防止し、周辺地域における生活環境の向上を図りました。

- ・防音（防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第3条第2項）
- ・民生安定施設整備（防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第8条）

（単位：千円）

事業名	種別	事業費	補助金	その他
若草小学校講堂防音機能復旧事業費	防音	38,416	29,417	8,999
恵明中学校講堂防音機能復旧事業費	防音	3,322	2,673	649
恵み野会館防音機能復旧事業費	防音	48,043	29,154	18,889
除雪車更新事業費	民生安定	41,919	31,188	10,731
合 計		131,700	92,432	39,268

※事業費は補助対象額以外の関連事務経費等を含む。

・ 国有提供施設等所在市町村助成交付金 (P. 20)

区 分	交付額(千円)
R5 年度	245, 205
R4 年度	250, 047
前年比	△4, 842

・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金(防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律第 9 条)
(P. 20~21)

区 分	交付額(千円)
R5 年度	368, 453
R4 年度	367, 423
前年比	1, 030

・ 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業の推進

(単位：千円)

事 業 名	事業費	調整交付金	その他
子ども医療費助成事業(基金造成)	15, 000	15, 000	0
はしご付消防ポンプ車更新整備事業(基金造成)	29, 173	29, 173	0
恵浄殿改修事業	21, 923	16, 077	5, 846
スポーツ施設改修事業	22, 990	12, 130	10, 860
スポーツ施設備品整備事業	1, 569	1, 500	69
道路整備事業	121, 493	111, 812	9, 681
公園照明灯改修事業	27, 475	25, 076	2, 399
街区公園再整備事業	105, 029	96, 266	8, 763
消防用資器材整備事業	3, 259	2, 976	283
学校給食センター厨房用設備更新事業	21, 307	16, 852	4, 455
ICT 教育整備事業	17, 618	16, 967	651
小学校保健室等冷房設備設置事業	17, 974	14, 766	3, 208
中学校保健室等冷房設備設置事業	12, 000	9, 858	2, 142
合 計	416, 810	368, 453	48, 357

※事業費には調整交付金対象額以外の関連事務経費等を含む。

目標 20 安全で円滑な地域交通

市民と行政が一体となり、それぞれの役割を担う市民協働の体制により、少子高齢化・人口減少社会に対応した利便性の高い道路整備、公共交通ネットワークの推進を図りました。

●除排雪の維持

・除雪の状況 (P. 141)

区 分	延 長 (km)						出動日数(日)	
	車道 (直営)	車道 (委託)	車道計	歩道 (直営)	歩道 (委託)	歩道計	直営	委託
R5 年度末	153.4	366.0	519.4	39.2	155.0	194.2	31	13
R4 年度末	154.5	384.9	539.4	39.2	154.8	194.0	30	16
比 較	△1.1	△18.9	△20.0	0.0	0.2	0.2	1	△3

・除雪車更新事業 (P. 141)

41,919千円

除雪トラック1台更新

・高齢者除雪サービス事業 (目標9に別掲)

高齢者世帯など除排雪作業が困難な方へ、地域のボランティアなどによる支援を行いました。

●身近な市民の足の確保 (新公共交通システムの構築)

第3次恵庭市地域公共交通総合連携計画、及び第2次恵庭市駐車場・駐輪場基本計画に基づきコミュニティバス及びコミュニティタクシーの利用促進、市民駐車場・駐輪場の適切な管理及び利用拡大に努めました。

・地域公共交通システムの構築 (P. 60)

127,001千円

運転免許証返納者を対象に、エコバス・エコタク共通回数券を交付し、利用促進を図りました。

・地域公共交通活性化協議会：6回開催

・えにわコミュニティバス運行状況

路 線	便 数 ()は土・日・祝日	乗車人数 (人)	1日平均 乗車人数(人)	運賃・回数券・定期券収入 (円)
A・Bコース	50便(27便)	357,601	977.1	58,563,813

・乗合タクシー運行状況

便 数	乗車人数(人)	1日平均乗車人数(人)	運賃・回数券収入(円)
7便	7,808	26.3	1,788,400

・市民駐車場・駐輪場の管理 (P. 60・282)

・有料駐車場状況

(単位:台)

駐車場名	面積(m ²)	供用開始年月日	収容台数	利用台数
恵庭駅東口	2,907	H19.10.1	105	37,506
恵み野駅東口	3,385	H19.12.1	124	25,940
島松駅横	3,090	H19.12.1	109	33,050
恵み野跨線橋下東	3,977	H21.1.1	72	14,095
恵み野跨線橋下西	3,305	H21.1.1	73	15,858
恵庭駅西口	2,142	H22.11.1	83	38,683

・駐輪場状況

(単位:台)

駐輪場名		収容台数	駐輪場名		収容台数
恵庭駅	東口(札幌側)	371	恵み野駅	東口	743
	東口(千歳側)	433		西口	226
	西口高架下	382	島松駅		423
	西口屋内	550	サッポロビール庭園駅		35

●橋梁耐震化など安全な道路網の維持

都市の骨格となる幹線道路の整備や橋梁耐震化による安全な道路網の確保の他、生活道路の道路改良や維持修繕、歩道の修繕により、沿道の環境整備を進めました。

・道路・街路整備事業 (P. 142~143)

1) 生活道路整備事業 (調整交付金事業)

1 2 1, 4 9 3 千円

7 路線、改良舗装工事 L = 5 6 0. 6 4 m
3 路線、測量調査設計 L = 4 0 8. 0 0 m

2) 生活道路整備事業 (地方道路等整備事業)

7 5, 8 4 4 千円

4 路線、改良舗装工事 L = 2 9 8. 2 3 m
8 路線、測量調査設計 L = 1, 3 5 6. 6 0 m

・市道の舗装状況

区分	実延長(m)	舗装延長(m)	舗装率(%)
R5 年度末	535, 423	400, 800	74. 9
R4 年度末	534, 986	399, 999	74. 8
比 較	437	801	0. 1
増加率(%)	0. 1	0. 2	0. 1

・道路補修事業 (P. 141)

1 7 7, 4 9 5 千円

簡易舗装修繕

恵み野地区、柏陽・中島地区 車道オーバーレイ A = 1 0, 8 4 0 m²

歩道舗装補修 A = 2, 8 8 0 m²

車道舗装補修 A = 1, 8 2 0 m²

道路施設補修工事 排水構造物撤去 縁石設置 L = 3 6 8 m

恵庭駅・恵み野駅エレベーターエスカレーター改修

・橋梁長寿命化事業 (P. 141~142)

3 8 6, 5 0 5 千円

橋梁補修工事 6 橋

(3 6 4, 4 6 1 千円)

橋梁点検 5 橋

(2 2, 0 4 4 千円)

・鉄道横断施設整備事業 (P. 142)

6 8, 2 6 0 千円

島松大通アンダーパス補修 L = 1 2 8. 1 5 m

・基線通周辺道路整備事業 (P. 143)

2 3, 5 0 7 千円

戸磯軽工業団地 3 号線改良舗装工事 L = 1 0 2. 9 8 m

●照明灯、標識などの補修、更新による安全な道路空間の維持

・生活環境改善要望対策事業（道路施設）（P. 141）

92,900千円

市民から寄せられた道路や除草といった身近な問題に対して、道路補修事業等の他事業と連携しながら、多様化するニーズや緊急性・損傷度などを勘案し、計画的に地域の課題解決を進めました。

目標 2 1 安定した水供給と持続的な下水処理

●人口減少社会を見据えた効率的な上下水道事業の運営

令和5年度も恵庭市水道事業ビジョン・経営戦略、恵庭市下水道ビジョン・経営戦略に基づき、効率的な上下水道事業の運営に取り組みました。

●最適な維持管理・改築、耐震化・分流化事業等による、既存施設の質の改善、安定的・持続的な上下水道事業の運営

災害に強いライフラインをめざし、事故や災害に備えた危機管理体制の強化と、上下水道設備の耐震化や長寿命化事業を進めました。

・配水管等整備事業 (P. 331～332)

360, 487千円

(※事務費除く、工事費のみ)

- 1) 配水管布設工事 18,963千円
 - ・φ50～φ150 L=381m
- 2) 配水管布設替工事 279,642千円
 - ・φ50～φ200 L=4,058m
- 3) メーター取替工事等 61,057千円
 - ・検満メーター取替 3,837個
- 4) その他工事 825千円
 - ・牧場配水池無停電電源装置更新工事 1式

・下水道管渠整備事業 (P. 386)

485, 757千円

(※事務費除く、工事費のみ)

- 1) 分流化
 - ・污水管布設 φ150～φ200 L=2,298m
- 2) 老朽化対策
 - ・管更生(污水) φ600 L=32m
 - ・マンホールポンプ所電気設備更新 1箇所
 - ・健全度調査(テレビカメラ調査、管口カメラ調査) 1式
- 3) 耐震化
 - ・管渠可とう化 φ250～φ1200 38箇所
 - ・マンホール更生 2～3号マンホール 3箇所
- 4) 浸水対策
 - ・雨水管布設 φ250 L=192m
- 5) 污水整備
 - ・污水管布設 φ200 L=181m

・公共下水道 整備及び水洗化状況

区 分	令和5年度末	令和4年度末	比 較
事業計画区域 (ha)	1,887.1	1,887.1	0.0
整備済区域 (ha)	1,874.6	1,874.6	0.0
整備率 (%)	99.3	99.3	0.0
処理区域内人口(普及人口)(人)	68,448	68,412	36.0
水洗化人口(人)	68,344	68,302	42.0
水洗化率 (%)	99.8	99.8	0.0
水洗化戸数(戸)	21,957	21,865	92.0

・下水終末処理場整備事業 (P. 387)

234,614千円

(※事務費除く、工事費のみ)

1) 改築・更新工事

- ・改築工事委託に関する協定 (除塵機、コンベア、監視制御設備、計装設備等)
- ・設備等更新工事 (沈砂棟直流電源装置、反応タンク DO 計、初沈・余剰汚泥引抜流量計等)

・個別排水処理施設整備事業 (P. 387)

1,650千円

- ・新設 1基 (5人槽 1基)

●他事業者との連携・地域バイオマスの受入れ・下水道資源の有効活用等による、効率的な資源・エネルギー循環の取組み

・官民連携バイオガス発電事業 (P. 363)

恵庭下水終末処理場では、地域バイオマスとしてし尿・浄化槽汚泥及び生ごみを受入れ、下水汚泥と混合処理することで発生するバイオガスを利用した発電事業を行っています。

市は民間発電事業者 (水 ing エンジニアリング㈱) にバイオガスを売却、民間発電事業者はバイオガスを利用して発電し、売電しています。

- ・バイオガス売却量 1,765 千 Nm³
- ・バイオガス売却益 76,813 千円
- ・バイオガス発電量 3,325 千 kwh

目標 2 2 住み続けたくなるまちづくり 住まいづくり

少子高齢化社会や循環型社会に対応した、良好で安全安心な住環境及び都市環境の向上のため、良質な居住水準の確保と、市営住宅の担うべき役割を踏まえた住宅のストックや各種整備に努めました。

・市営住宅の管理

住生活基本計画及び公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存住宅の修繕・改修工事の実施や柏陽・恵央団地建替事業の推進を図るため、他の市営住宅への移転や市営住宅解体工事等を進めました。

・市営住宅維持修繕 (P. 148)

33,572千円

修繕業務の一括委託及び夜間休日対応の委託化により、初期対応や緊急性判断などを迅速に行うことが可能となり、市営住宅管理業務の効率化を図りました。

・新規入居者に係る修繕 (P. 148～149)

16,965千円

新規入居者募集に係る空家修繕を35室実施。

・市営住宅長寿命化改修事業 (P. 148)

154,094千円

寿第一団地外壁屋根等改修工事

桜町団地8～12号棟給水設備切替工事

桜町団地4～7号棟給水設備切替工事に係る実施設計

・市営住宅柏陽・恵央団地建替事業 (P. 148)

25,500千円

建替事業へ向けて、柏陽団地入居者の移転や移転先市営住宅の修繕を実施。

・移転件数 68戸 ・移転先修繕 12室

・柏陽団地解体事業 (P. 149)

205,424千円

柏陽団地第一優先区域解体工事

柏陽団地第二優先区域解体工事に係る実施設計

・恵央団地6号棟建設事業 (P. 149)

33,891千円

駐車場等外構工事

・公営住宅等長寿命化計画策定事業 (P. 149)

2,585千円

令和6～15年度における公営住宅等のあり方を定めた計画の策定

・令和5年度末市営住宅管理戸数

(単位：戸)

名称	建築年度	戸数	形式
柏陽団地	S48～S52	224	2DK, 3DK
恵央団地	H15～R4	222	1LDK, 2LDK, 3LDK
旭団地	S52～S54	166	3DK
桜町団地	H3～H10	228	2K, 2DK, 2LDK, 3LDK
福住団地	S56	32	3DK
若草団地	S53～S59	28	3DK
有明団地	H元	33	2K, 2DK, 3LDK
寿第1団地	S54～S55・H14	58	1LDK, 2LDK, 3DK, 3LDK
寿第2団地	S41～S42	37	2DK
寿第3団地	S49～S50	22	2DK, 3DK
恵み野南団地	S60・H13	48	2DK, 2LDK, 3LDK
計		1,098	

目標 2 3 ごみの減量と適正な処理

環境負荷低減及び持続可能な循環型社会を形成するため、市民・事業者・行政の役割分担と協働により、ごみの低減化・リサイクルを促進するとともに、適正なごみ処理体制の維持のため施設整備及び施設の老朽化対策を進めました。

●ごみ処理施設の整備・適正管理

・ごみ処理量

(単位：t)

施設	種類	R5 年度	R4 年度	比較
生ごみ処理施設	家庭系一般廃棄物	1,902.97	1,965.77	△62.80
	事業系一般廃棄物	1,269.04	1,329.06	△60.02
	小計	3,172.01	3,294.83	△122.82
リサイクルセンター	家庭系一般廃棄物	2,145.35	2,085.17	60.18
	事業系一般廃棄物	31.73	5.48	26.25
	小計	2,177.08	2,090.65	86.43
焼却施設	家庭系一般廃棄物	7,679.28	7,838.93	△159.65
	事業系一般廃棄物	2,064.64	2,149.94	△85.30
	産業廃棄物	1,544.44	1,611.90	△67.46
	その他	542.90	608.78	△65.88
	小計	11,831.26	12,209.55	△378.29
ごみ処理場	家庭系一般廃棄物	964.10	1,194.58	△230.48
	事業系一般廃棄物	1,960.83	1,994.33	△33.50
	産業廃棄物	2,286.52	1,794.71	491.81
	小計	5,211.45	4,983.62	227.83
処理量合計		22,391.80	22,578.65	△186.85
ごみ処理場	鉄等搬出	83.99	114.78	△30.79

●ごみの分別・収集体系の構築

・ごみ発生量

項目				単位	R5 年度	R4 年度	比較
処 理 対 象 人 口				人	70,023	70,069	△46
処 理 対 象 世 帯				世帯	35,488	35,007	481
家庭系一般廃棄物	収 集	可 燃	t	7,501.81	7,628.67	△126.86	
		生 ご み	t	1,917.40	1,986.89	△69.49	
		不 燃	t	417.37	451.85	△34.48	
		粗 大 ご み	t	335.51	367.85	△32.34	
		資 源	t	2,143.39	2,236.87	△93.48	
	小 計			t	12,315.48	12,672.13	△356.65
	直 搬 接 入	可 燃	t	0.00	0.00	0.00	
		不 燃	t	358.90	393.95	△35.05	
		資 源	t	17.32	18.37	△1.05	
	小 計			t	376.22	412.32	△36.10
	合 計			t	12,691.70	13,084.45	△392.75
一般事業系 廃棄物	可 燃	t	1,527.12	1,535.85	△8.73		
	生 ごみ	t	1,276.62	1,338.20	△61.58		
	不 燃	t	146.09	159.45	△13.36		
	資 源	t	31.73	5.48	26.25		
	合 計	t	2,981.56	3,038.98	△57.42		
集 団 資 源 回 収				t	1,437.83	1,653.81	△215.98
一 般 廃 棄 物 総 排 出 量				t	17,111.09	17,777.24	△666.15
1 人 1 日 当 た り の ご み 排 出 量				g	667.66	695.10	△27.44
リ サ イ ク ル 率				%	36.7	36.4	0.3
産業 廃棄物	可 燃	t	1,544.44	1,611.90	△67.46		
	不 燃	t	2,040.09	1,524.82	515.27		
	合 計	t	3,584.53	3,136.72	447.81		
発 生 量 合 計				t	19,257.79	19,260.15	△2.36

目標 2 4 次世代へつなげる環境

市民・事業者・行政が一体となり、「きれいなまちづくり」や、より良い環境を次世代に確実に引き継ぐ循環型社会の構築を図り、新エネルギー・省エネルギーについて、調査研究を進めました。

●地域環境美化活動への支援

・環境美化活動の推進

- | | | |
|----------------------|------------|----------|
| ・ボランティア袋の配布 | 草木類専用 | 34, 437枚 |
| | ポイ捨てごみ用 | 14, 442枚 |
| ・環境美化等推進員登録件数 | 60町内会及び自治会 | 82名 |
| ・集合住宅ごみ等優良保管場所累計認定件数 | | 53件 |

・不法投棄防止パトロール

通常パトロール：243日間（4月～11月：2人体制、12月～3月：1人体制）

●地域に応じた自然環境の保護と管理（P.117）

3, 185千円

近年の産業活動や自動車などを発生源とする各種の公害から、市民の健康を守り良好な生活環境を維持するために、大気・水質等の調査・測定・監視や騒音・振動・悪臭等の発生防止のための指導等を実施しました。

・水質汚濁調査

- ・定期河川水質調査：市内7河川10ヵ所（年6回）
- ・ゴルフ場農薬検査：市内3ゴルフ場（年1回）、地下水調査：4ヶ所（T P H試験1回）

・自動車騒音常時監視委託

- ・騒音測定：道道江別恵庭線（島松寿町2丁目12、北柏木町2丁目16、有明町1丁目3）
- ・面的評価：道道江別恵庭線 調査区間10.1km

・臭気物質測定調査

- ・臭気物質濃度及び臭気指数測定：4ヶ所

●省資源・省エネルギーの促進、普及啓発（P.117）

8, 758千円

・脱炭素に関する連携協定の締結

市内の脱炭素社会の実現に向け、令和5年6月12日に恵庭市・株式会社北洋銀行・株式会社ゼロボードの三者による連携協定を締結しました。本協定は主に産業部門を対象に、金融・経営に係る相談・支援体制の提供、温室効果ガスの可視化サービスとデータの活用環境の提供、脱炭素に向けた行政施策の立案と取り組み及びそれらの周知等に関する事項について、三者が連携する内容となっています。

・GHG排出量可視化事業

恵庭市・株式会社北洋銀行・株式会社ゼロボードとの連携協定に基づき、市内事業者に対してGHG可視化システムの導入・利用、またはエネルギー使用量データ提供について、協力依頼を行いました。

GHG可視化システムの導入・利用、エネルギー使用量データ提供同意事業者数：23社

・恵庭市ゼロカーボンアクションプランの公表

地球温暖化防止のため、令和5年8月に家庭の日常生活における脱炭素・省エネに具体的に取り組む行動をまとめた「恵庭市ゼロカーボンアクションプラン」を公表しました。

・環境審議会の開催（２回）

「恵庭市の環境」令和４年度版、三者協定締結、事業者向け温室効果ガス見える化事業、イベント開催・出展、悪臭に関する苦情等の状況、ゼロカーボン・ロードマップ、脱炭素施策に関する産学官作業部会の設置、市内の温室効果ガス排出量推計値、ゼロカーボンに向けた市民の行動喚起事業について協議を実施しました。

・市域への普及啓発事業

市域への普及啓発のため、地球温暖化対策に資する情報発信、「えにわ環境・エネルギー展」の開催、ゼロカーボンラジオCMの作成と放送等を実施しました。

・市広報誌での情報発信

広報えにわ：２０２３年９月号「みんなで取り組もう！恵庭市ゼロカーボンアクションプラン」
２０２４年１月号「実践！冬の省エネ～ゼロカーボンアクションプラン～」

・えにわ環境・エネルギー展の開催

開催日：令和５年９月１０日 会場：花の拠点 はなふる 来場者数：３，９８４人

・ゼロカーボンラジオCMとショート番組の作成・放送

放送期間：ラジオCM 令和６年３月１日～令和６年３月２４日

ショート番組 令和６年３月１１日～令和６年３月２２日

・ナッジ手法を利用した市民への普及啓発事業

効果的な普及啓発の手法を検討するため、「ナッジ手法」を利用した市民への普及啓発事業を実施しました。アンケート調査の結果において、行動意欲についてはナッジ介入群の意識・意欲が高い傾向が見られました。

調査対象：市民１，０００世帯（ナッジ群５００世帯、非ナッジ群５００世帯、無作為抽出）

回答数：３７７世帯（ナッジ群１７７世帯、非ナッジ群２００世帯）

継続モニター登録数：ナッジ群５７世帯、非ナッジ群６９世帯

